

令和 5（2023）年度 年報

- 企画展
 - ・あつめてのこす、ひろくつたえる～新収蔵品展から～
 - ・生誕 110 年 齋藤三郎展
 - ・生誕 140 年 小林古径の世界
 - ・生誕 140 年記念 古径さんの素描
- 教育普及事業
- 作品収集・保管・管理事業
- 調査研究事業等
- 広報活動等

(1) 企画展の概要

展 覧 会 名：あつめてのこす、ひろくつたえる ～新収蔵品展から～

会 期：令和5年3月25日（土）～7月2日（日）89日間

会 場：小林古径記念美術館

開 催 内 容：令和2年～令和4年度までに収集した作品から、45点を展示した。

主な展示作品：小林古径《梅にうぐいす》、安田靱彦《紅花青花》、モーリス・ユトリロ《クレミューの教会》、牧野虎雄《築山芥子》、岩野勇三《りさ》、北大路魯山人《赤絵蓋付碗 長春富貴》相馬御風／竹内臨川《良寛と貞心尼》

そ の 他：・観桜会期間は、開館時間を午後7時まで延長した。

・5月21日（日）は、「国際博物館の日」を記念事業として施設を無料開放した。

担 当 学 芸 員：伊藤舞実・小川陽子



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,274 人	1,985 人	4,259 人
幼・小・中・高	161 人	489 人	650 人
計	2,435 人	2,474 人	4,909 人

・1日平均 55 人、有料入館率：49.6% 目標入館者数：5,000 人

・令和5年3月25日～3月31日までの入館者数 341 人を含む。

〈展示作品リスト〉

作家名	作品名	分類	材質・技法	寸法(cm)	制作年(和暦)	形状	収集先	収集年度	収集方法
1. 新収蔵・古径とゆかりの作家たち									
小林 古径	重盛	日本画	絹・彩色	124.5×41.0	1911(明治44)頃	軸装	加藤 儔一	令和4年	寄贈
小林 古径	翠色	日本画	紙・彩色	148.4×48.1	1917(大正6)頃	軸装	齋藤 弘	令和2年	寄贈
小林 古径	朝顔	日本画	絹・彩色	119.5×36.1	1928(昭和3)頃	軸装	齋藤 弘	令和2年	寄贈
小林 古径	梅にうぐいす	日本画	紙・彩色	48.0×64.4	1947(昭和22)	軸装	おひさま耳鼻咽喉科	令和4年	寄贈
小林 古径	蓼(習作)	日本画	紙・彩色	73.4×46.5	昭和20年代	軸装	Jマテ、ホールディングス株式会社	令和3年	寄託
梶田 半古	勿来之関	日本画	絹・彩色	119.2×41.5	明治末～大正初	軸装	江嶋 正行	令和3年	寄贈
梶田 半古	春江	日本画	絹・彩色	126.8×40.9	明治末～大正初	軸装	諸隈 裕一	令和3年	寄贈
小林 古径	唐黍(扇面)	日本画	紙・彩色	24.0×54.0	1915(大正4)頃	額装	Jマテ、ホールディングス株式会社	令和3年	寄託
安田 靱彦	紅花青花	日本画	紙・彩色	45.0×51.7	1967(昭和42)	軸装	田中産業株式会社	令和3年	寄託
小林 古径	果実	日本画	紙・墨	26.6×24.2	1951(昭和26)	軸装	株式会社 井上商会	令和2年	寄贈
奥村 土牛	牡丹	日本画	絹・彩色	44.1×56.0	不明	軸装	田中産業株式会社	令和3年	寄託

2. あつめてのこす、ひろくつたえる								
峯田 敏郎	おんな－佐賀－	彫刻	テラコッタ	58.0×40.0×23.0	1988(昭和63)		峯田 敏郎	令和3年 所管替え
峯田 敏郎	記念撮影－緑の風の中－	彫刻	木彫	40.0×43.0×19.0	2010(平成22)		峯田 敏郎	令和3年 所管替え
加山 又造	魚	日本画	紙・彩色	21.5×21.5	不明	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社	令和3年 寄託
大山 忠作	彩鱗	日本画	紙・彩色	52.3×72.0	不明	額装	田中産業株式会社	令和3年 寄託
北大路 魯山人	鳥かすみ網図	日本画	紙・彩色	27.3×24.2	不明	軸装	Jマテ・ホールディングス株式会社	令和3年 寄託
北大路 魯山人	赤絵蓋付碗 長春富貴	工芸	陶器	高:6.0(6客)	不明		Jマテ・ホールディングス株式会社	令和4年 寄託
ジュール・デュブレ	川辺の牛の群れ	油彩画	カンヴァス・油彩	25.1×48.2	不明	額装	田中産業株式会社	令和3年 寄託
カール・ドービニー	風景	油彩画	カンヴァス・油彩	38.0×64.2	1878(明治11)	額装	田中産業株式会社	令和3年 寄託
モーリス・ユトリロ	クレミューの教会	油彩画	カンヴァス・油彩	71.5×52.3	1928(昭和3)	額装	田中産業株式会社	令和3年 寄託
吉田 玉潤	童子図屏風	日本画	紙・金地彩色	各158.6×158.8	不明	屏風	荒井 東一郎	令和4年 寄贈
石塚 仙堂	春曉蓬萊山之図	日本画	紙・彩色	178.0×96.5	1933(昭和8)	軸装	曾我 文隆	令和3年 寄贈
木村 隆	碧釉切絵壺	工芸	陶器	高:26.0	不明		木村 貞雄	令和2年 寄贈
齋藤 三郎	色絵椿文壺	工芸	色絵磁器	高:18.0	1975(昭和50)		Jマテ・ホールディングス株式会社	令和3年 寄託
高井 進	黄磁長頸壺	工芸	磁器	高:37.5	不明		長瀬 幸夫	令和4年 寄贈
高井 進	青磁葡萄文大壺	工芸	磁器	高:34.8	2000(平成12)頃		高井 進	令和2年 寄贈
牧野 虎雄	牧野虎雄画帖	資料	紙・墨	39.5×29.0(6冊のうち)	不明	画帖	有限会社 ギャラリー一祥	令和2年 寄贈
牧野 虎雄	立葵	油彩画	カンヴァス・油彩	59.5×48.8	昭和初	額装	有限会社 ギャラリー一祥	令和2年 寄贈
牧野 虎雄	築山芥子	油彩画	カンヴァス・油彩	48.8×59.5	1940(昭和15)	額装	有限会社 ギャラリー一祥	令和2年 寄贈
山田 春美	あけがた・ゆふぐれ	油彩画	カンヴァス・油彩	各87.3×173.2	1987(昭和62)	額装	山田 ひろ子	令和4年 寄贈
矢野 利隆	人穴 ナニモナイウチガワ	油彩画	カンヴァス・油彩	96.0×129.4	2021(令和3)	額装	矢野 利隆	令和4年 寄贈
長森 聡	霧と仮面のある静物	油彩画	カンヴァス・油彩	87.8×144.0	1991(平成3)	額装	矢野 良子・荻村 徹	令和2年 寄贈
三浦 顯榮	妙高山	油彩画	カンヴァス・油彩	30.5×38.5	不明	額装	長谷川 浩 (大嶋幸旧蔵)	令和2年 寄贈
仲田 大二	瞽女	油彩画	カンヴァス・油彩	60.5×72.3	不明	額装	有沢 忠	令和2年 寄贈
金子 仁三郎	なかよし	油彩画	カンヴァス・油彩	116.0×91.0	1947(昭和22)	額装	岩崎 千絵	令和4年 寄贈
玉井 力三	三笠艦橋の図(模写)	油彩画	カンヴァス・油彩	112.0×146.0	1929(昭和4)	額装	上越市立 春日新田小学校	令和4年 所管替え
鈴木 六衛	しじまⅡ	工芸	陶・木・ステンレス	174.0×60.0×7.0	1990(平成2)		鈴木 恒夫	令和3年 寄贈
加藤 僖一	良寛和尚和歌一首	書	紙・墨	135.5×33.6	1981(昭和56)	軸装	加藤 僖一	令和4年 寄贈
相馬 御風 竹内 臨川	良寛と貞心尼	書	紙・墨・淡彩	「良寛」21.0×30.0 「貞心尼」20.5×29.9	不明	軸装	株式会社 井上商会	令和2年 寄贈
岡本 鎮二	座る女	彫刻	ポリエステル	高:48.7	1975(昭和50)		上越寮友会	令和3年 寄贈
岩野 勇三	待合室	彫刻	ブロンズ・鑄造	高:39.5	1968(昭和43)		佐久間 昇二	令和2年 寄贈
岩野 勇三	服を脱ぐ女	彫刻	木彫	高:101.7	1959(昭和34)		岩野 亮介	令和3年 寄贈
岩野 勇三	さなえ	彫刻	ブロンズ・鑄造	高:33.5	1979(昭和54)		保坂 みどり	令和3年 寄贈
岩野 勇三	りさ	彫刻	ブロンズ・鑄造	高:129.2	1982(昭和57)		岩野 亮介	令和4年 寄贈
岩野 勇三	なかま	彫刻	ブロンズ・鑄造	高:6.6	1986(昭和61)		岩野 亮介	令和4年 寄贈

(3)関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
小林古径生誕 140 年記念 さくら茶席	① 4 月 1 日 (土) ② 4 月 2 日 (日) ③ 4 月 8 日 (土) ④ 4 月 9 日 (日) 各回 10:00 ～ 15:00	① 32 人 ② 23 人 ③ 10 人 ④ 11 人 計 76 人	小林古径邸でミュージアムファンクラブによる茶席を開催した。 (抹茶と和菓子セット 500 円)
鑑賞&トーク 「この作品、どうしてここにあるの？」	① 4 月 15 日 (土) ② 5 月 13 日 (土) ③ 6 月 18 日 (日) 各回 14:00 ～ 15:00	① 2 人 ② 5 人 ③ 3 人 計 10 人	作品にまつわる話をしながら学芸員と一緒に展示を鑑賞した。
GW 特別企画 「古径邸・庭園見どころガイドツアー」	5 月 4 日 (木・祝) 14:00 ～ 15:00	16 人	学芸員と一緒に古径邸庭園を散策し、国登録有形文化財・小林古径邸の建築の見どころを解説した。
のこしてつたえる 「彫刻びかびか大作戦」	5 月 14 日 (日) 9:00 ～ 10:30	11 人	高田城址公園内のブロンズ彫刻作品を清掃し、彫刻に親しんでもらう機会を提供した。
スペシャル☆よちよちタイム	5 月 23 日 (火) 10:00 ～ 12:00	0 歳から年長までの子どもと保護者 7 組	毎週火曜日に実施している「よちよちタイム」のスペシャル版として、絵本の読み聞かせと親子鑑賞ツアー、お絵描きを行った。 協力: 高田図書館職員
ワークショップ 「くらべてみよう 日本画と油彩画」	① 5 月 27 日 (土) ② 6 月 3 日 (土) 各回 13:30 ～ 15:00	① 0 人 ② 15 人 計 15 人	日本画・油絵キットを使って実際に絵の具を塗り、その質感を楽しんだ。



GW 特別企画「古径邸・庭園見どころガイドツアー」



のこしてつたえる「彫刻びかびか大作戦」



スペシャル☆よちよちタイム



ワークショップ「くらべてみよう 日本画と油彩画」

「新收藏品展」展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：生誕 110 年 齋藤三郎展

会 期：令和 5 年 7 月 15 日（土）～ 10 月 9 日（月・祝）76 日間
会 場：小林古径記念美術館
開 催 内 容：上越市ゆかりの陶芸家・齋藤三郎の生誕 110 年を記念し、修業時代から晩年までの作品を展示した。その他、書画や商業デザインなど多岐に渡る活躍も合わせて紹介した。没後 40 年が経った今、作品の素晴らしさや幅広い活躍について知ってもらうことで、三郎が地元の文化振興に果たした功績を紹介することができた。
主な展示作品：《色絵籠に蕨文大皿》（樹下美術館蔵）、《色絵椿文大壺》（個人蔵）ほか
そ の 他：「齋藤三郎展図録」（A5 判、88 頁、カラー、頒布価格 1,000 円）を作成
担 当 学 芸 員：市川高子・小川陽子



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,506 人	1,328 人	3,834 人
幼・小・中・高	37 人	225 人	262 人
計	2,543 人	1,553 人	4,096 人

・1 日平均 54 人、有料入館率：62% 目標入館者数：5,000 人

〈展示作品リスト〉

作家名	作品名	寸法(cm)	制作年(和暦)	所蔵先
■企画展「生誕 110 年 齋藤三郎展」：企画展示室				
第 1 章：修業時代（昭和 18 年まで）				
齋藤 三郎	この男	84.2×32.7	—	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	詩文に紅椿の図	32.7×42.5	—	樹下美術館
富本 憲吉	色絵湯呑	高：8.1 径：6.5	1936(昭和11)頃	個人蔵
齋藤 三郎	湯呑	高：10.3 径：9.2	1941(昭和16)頃	個人蔵
齋藤 三郎	染付菓子器	高：7.5 径：21.8	1937(昭和12)	樹下美術館
齋藤 三郎	寿山色絵菜果文皿（西晴雲 画）	高：3.0 径：24.3	1940(昭和15)頃	個人蔵
齋藤 三郎	染付楼閣山水図菓子器	高：5.8 径：22.3	1937(昭和12)～1938(昭和13)	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	呉須掻落牡丹文瓶	高：20.5 径：10.0	1943(昭和18)	新潟県立近代美術館・万代島美術館
第 2 章：高田築窯（昭和 20 年代）				
齋藤 三郎	壺に柘榴文皿	高：5.5 径：20.7	1946(昭和21)～1947(昭和22)	個人蔵
齋藤 三郎	色絵黄蜀葵文皿	高：5.5 径：20.0	1948(昭和23)初窯	樹下美術館
齋藤 三郎	鉄絵葉文鉢	高：7.9 径：19.9	1948(昭和23)初窯	樹下美術館
齋藤 三郎	染付絵変向付	高：3.3 径：14.4 奥行：8.7	1948(昭和23)初窯	樹下美術館
齋藤 三郎	辰砂陰刻牡丹文瓶	高：30.0 径：15.0	1948(昭和23)初窯	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	上越文化懇話会頒布会	—	1947(昭和22)	個人蔵
齋藤 三郎	赤絵魁大鉢	高：13.3 径：33.0	1950(昭和25)頃	樹下美術館
齋藤 三郎	色絵柚子文鉢	高：6.5 径：23.0	1950(昭和25)～1954(昭和29)	樹下美術館

齋藤 三郎	窓絵椿小紋面取壺	高:26.5 径:18.0	1950(昭和25)～1959(昭和34)	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	黄彩染付団栗文鉢	高:4.5 径:23.0	1950(昭和25)～1954(昭和29)	樹下美術館
齋藤 三郎	土焼赤絵掻落柘榴文壺	高:20.0 径:26.9	1950(昭和25)頃	樹下美術館
齋藤 三郎	色絵茄子文皿	高:7.0 径:25.0	1948(昭和23)～1954(昭和29)	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	棟方志功・齋藤三郎展ポスター	80.5×55.0	1951(昭和26)頃	個人蔵
齋藤 三郎	堀口大學揮毫 湯呑	高:7.0 径:6.2	—	個人蔵
齋藤 三郎	堀口大學揮毫 湯呑	高:7.7 径:8.1	—	個人蔵
齋藤 三郎	松林桂月揮毫 染付竹林文皿	高:8.5 径:32.2	—	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	齋藤三郎 堀口大學宛 書簡	19.5×91.0	1947(昭和22)11月26日消印	個人蔵
齋藤 三郎	坂口謹一郎 齋藤三郎宛はがき	13.7×8.8	1965(昭和40)5月6日消印	個人蔵
齋藤 三郎	小杉放菴 齋藤三郎宛はがき	13.7×8.8	1949(昭和24)4月2日消印	個人蔵
齋藤 三郎	棟方志功 齋藤三郎宛はがき	13.7×8.8	1951(昭和26)5月5日消印	個人蔵
齋藤 三郎	寸雪庵好 雪花文屏風香合	高:4.3 径:3.2 奥行:4.8	1965(昭和40)～1974(昭和49)	個人蔵
齋藤 三郎	高田に疎開していた写真家、濱谷浩と朝の結婚式にて	40.5×51.5	1948(昭和23)2月29日	個人蔵
齋藤 三郎	齋藤三郎 宮越光昭宛書簡	28.0×77.0	—	個人蔵
齋藤 三郎	色絵柿文鉢	高:8.4 径:23.5	1950(昭和25)～1954(昭和29)	樹下美術館
齋藤 三郎	色絵梅文皿	高:3.8 径:15.0	1950(昭和25)～1959(昭和34)	樹下美術館
齋藤 三郎	湯呑 五趣	(五趣のうち)鉄絵芙蓉文湯呑 高:9.5 径:8.3	1960(昭和35)	樹下美術館
齋藤 三郎	辰砂葉文湯呑	高:8.3 径:8.7	1955(昭和30)～1964(昭和39)	個人蔵
齋藤 三郎	鉄絵木蓮文急須	高:11.5 径:10.8	1955(昭和30)～1964(昭和39)	樹下美術館
齋藤 三郎	椿絵煎茶器	急須:9.2×12.0 茶碗:4.7×7.1 湯冷まし:6.7×11.0	1960(昭和35)～1969(昭和44)	個人蔵
齋藤 三郎	磁州窯鉢に水仙	46.0×55.8	—	樹下美術館
齋藤 三郎	「泥裏珠光」	68.2×29.0	—	個人蔵
齋藤 三郎	齋藤三郎使用 道具	—	—	個人蔵
齋藤 三郎	齋藤三郎使用 手回し轆轤	高:55.0 径:60.0	—	個人蔵
齋藤 三郎	スケッチブック (2冊)	各:35.5×26.0	—	個人蔵
第3章：泥裏珠光（昭和30年～昭和56年）				
齋藤 三郎	會津八一揮毫 泥裏珠光大皿	高:8.0 径:31.7	—	個人蔵
齋藤 三郎	頒布会規則	15.0×21.0	1959(昭和34)	個人蔵
齋藤 三郎	作品頒布会清規	24.0×17.8	1963(昭和38)頃	個人蔵
齋藤 三郎	皮鯨茶碗	高:7.5 径:14.5	1965(昭和40)～1974(昭和49)	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	鉄絵筒茶碗	高:9.2 径:10.4	1965(昭和40)～1974(昭和49)	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	鉄絵武蔵野茶碗	高:8.5 径:14.0	1955(昭和30)～1959(昭和34)	個人蔵
齋藤 三郎	立鼓水指	高:19.0 径:14.0	1955(昭和30)～1959(昭和34)	個人蔵
齋藤 三郎	色絵草花文水指	高:14.9 径:12.2	1965(昭和40)～1974(昭和49)	樹下美術館
齋藤 三郎	椿図	26.5×23.5	—	個人蔵
齋藤 三郎	椿三図	132.0×34.0	—	個人蔵
齋藤 三郎	色絵唐辛子文大皿	高:5.9 径:40.5	1970(昭和45)	樹下美術館
齋藤 三郎	姥百合の図	67.0×44.1	1955(昭和30)～1974(昭和49)	樹下美術館
齋藤 三郎	白磁鉄斑文瓶	高:28.3 径:12.2	1960(昭和35)～1964(昭和39)	個人蔵
齋藤 三郎	鉄絵手附鉢	高:12.7 径:21.5	1955(昭和30)～1974(昭和49)	樹下美術館
齋藤 三郎	鉄絵横縞文花入	高:20.5 径:9.5	1955(昭和30)～1959(昭和34)	個人蔵
齋藤 三郎	黒掻落野ばら文壺	高:15.6 径:13.0	1948(昭和23)～1964(昭和39)	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	色絵籠に蕨文大皿	高:7.5 径:38.5	1964(昭和39)	樹下美術館
齋藤 三郎	色絵竹垣文金彩茗荷大皿	高:8.0 径:38.0	1962(昭和37)	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	色絵開椿文皿	高:3.0 径:29.0	1965(昭和40)頃	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	色絵雪椿文飾皿	高:5.5 径:26.0	1966(昭和41)	小林古徑記念美術館寄託作品 (J マテ , ホールディングス株式会社)

齋藤 三郎	白磁瓶	高:27.0 径:12.8	1965(昭和40)～1974(昭和49)	個人蔵
齋藤 三郎	白磁壺	高:19.5 径:23.0	1970(昭和45)～1980(昭和55)	小林古径記念美術館
齋藤 三郎	白磁瓜形花瓶	高:25.5 径:18.5	1973(昭和48)頃	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	白磁壺	高:19.3 径:18.8	1977(昭和52)	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	染付竹林文壺	高:35.0 径:22.0	1970(昭和45)頃	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	色絵花籠文大壺	高:35.0 径:31.0	1971(昭和46)頃	個人蔵
齋藤 三郎	色絵色紙に椿文皿	高:5.7 径:29.5	1965(昭和40)頃	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	色絵冬囲文皿	高:6.5 径:29.0	1965(昭和40)～1969(昭和44)	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	色絵壺に蕨文飾皿	高:5.3 径:26.3	1965(昭和40)～1969(昭和44)	個人蔵
齋藤 三郎	色絵蔬菜文皿	高:5.5 径:27.0	1975(昭和50)頃	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	辰砂葡萄文大壺	高:28.0 径:28.0	1980(昭和55)頃	新潟県立近代美術館・万代島美術館
齋藤 三郎	色絵椿文大壺	高:35.0 径:39.5	1974(昭和49)	個人蔵
齋藤 三郎	この男	19.0×28.0	—	樹下美術館
齋藤 三郎	籠に冬瓜の図	54.3×50.4	1955(昭和30)～1964(昭和39)	樹下美術館
齋藤 三郎	椿図	39.1×27.7	1945(昭和20)～1954(昭和29)	樹下美術館
齋藤 三郎	大杉屋包装紙原画	55.0×42.0	1960(昭和35)頃	個人蔵
齋藤 三郎	「深田久弥先生は…」	34.5×137.2	1970(昭和45)頃	個人蔵
齋藤 三郎	染付辰砂妙高山壺	高:18.5 径:20.3	1975(昭和50)頃	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	染附妙高山文角皿	高:3.5 径:21.3 奥行:21.3	1975(昭和50)初窯	樹下美術館
齋藤 三郎	色絵妙高文湯呑	高:8.5 径:7.4	1975(昭和50)初窯	樹下美術館
齋藤 三郎	良寛詩 文房具	硯屏:16.2×10.0×3.5 硯:6.7×16.0×9.0 筆架:4.0×3.0×10.5 筆:26.0 水滴:6.0×3.2×7.8	1975(昭和50)～1981(昭和56)	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	水滴	冢形水滴:5.7×7.0×7.2 鉄絵水滴:5.2×6.2 色絵金彩梅文水滴:4.0×7.0 白磁面取水滴:7.5×5.5	1955(昭和30)～1974(昭和49)	個人蔵
齋藤 三郎	色絵椿文墨床	高:3.0 径:7.9 奥行:4.3	1965(昭和40)～1974(昭和49)	個人蔵
齋藤 三郎	陶印	—	—	個人蔵
齋藤 三郎	妙高山	51.8×44.0	1965(昭和40)～1974(昭和49)	樹下美術館
齋藤 三郎	緑地金彩秋草文陶箱	高:8.0 径:13.5 奥行:7.8	1977(昭和52)頃	樹下美術館
齋藤 三郎	色絵籠に椿飾皿	高:6.0 径:27.0	1960(昭和35)～1969(昭和44)	個人蔵
齋藤 三郎	色絵椿文壺	高:20.0 径:21.0	1970(昭和45)～1980(昭和55)	小林古径記念美術館
齋藤 三郎	扇面雪椿図	34.0×45.0	—	長瀬幸夫氏
第4章：生き続ける芸術 書画とデザイン・二代陶齋の仕事				
齋藤 三郎	遊心堂包装紙	28.5×28.5	—	遊心堂提供
齋藤 三郎	富寿し包装紙	29.5×41.8	—	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	鳥よしメニュー	24.2×26.5	—	個人蔵
齋藤 三郎	東京パン包装袋	20.0×13.5	—	個人蔵
齋藤 三郎	料亭やすね敷紙 (7種)	各:25.5×36.5	1970(昭和45)頃	長瀬幸夫氏
齋藤 三郎	マッチ箱デザイン原画 (3種)	各:5.0×10.0	—	株式会社 大杉屋惣兵衛
齋藤 三郎	大杉屋広告原画	12.5×23.0	—	株式会社 大杉屋惣兵衛
齋藤 三郎	菓子デザイン (下絵)	17.2×29.0	—	株式会社 大杉屋惣兵衛
齋藤 三郎	年賀状原画	21.5×16.2	1960(昭和35)	株式会社 大杉屋惣兵衛
齋藤 三郎	羊羹包装紙 (下絵)	26.5×43.5	—	株式会社 大杉屋惣兵衛
齋藤 三郎	菓子名検討のための下書き	—	—	株式会社 大杉屋惣兵衛
齋藤 三郎	ラベル原画	26.5×23.7	—	株式会社 岩の原葡萄園
—	岩の原ワイン 深雪花 赤	高:29.5	—	株式会社 岩の原葡萄園提供
—	岩の原ワイン 深雪花 白	高:29.5	—	株式会社 岩の原葡萄園提供
—	越の若竹	高:29.5	—	上越酒造株式会社
—	高田山の会パンフレット	24.0×16.5	1960(昭和35)	個人蔵

齋藤 三郎	高田山の会フラッグ	17.0×28.0	1960(昭和35)頃	個人蔵
—	展覧会パンフレット	—	—	個人蔵
齋藤 尚明	白磁面取大瓶〔古径邸展示〕	高:44.5 径:26.8	2015(平成27)	個人蔵
齋藤 尚明	色絵唐辛子文壺〔古径邸展示〕	高:19.5 径:16.2	2020(令和2)	個人蔵
齋藤 尚明	青磁面取香炉〔古径邸展示〕	高:9.8 径:7.0	2010(平成22)	個人蔵
画: 齋藤 三郎 書: 濱谷 浩	唐辛子大根図〔古径邸展示〕	34.0×122.5	1955(昭和30)～1964(昭和39)	個人蔵

作品名	材質・技法	寸法(cm)	制作年(和暦)	形状	備考
■小林古径記念美術館コレクション展（古径記念室）					
すすき	絹・彩色	141.0×50.3	大正時代	軸装	高橋信雄氏寄贈
家根	紙・彩色	35.3×48.4	大正時代	軸装	個人蔵
八仙花	絹・彩色	128.4×41.4	1928(昭和3)頃	軸装	齋藤弘氏寄贈
翡翠	絹・彩色	40.7×50.4	昭和時代初期	軸装	齋藤弘氏寄贈
桔梗	紙・彩色	46.0×35.0	1949(昭和24)頃	軸装	
鶴鴿	紙・彩色	27.8×23.6	1943(昭和18)頃	軸装	
めうか	紙・彩色	28.0×34.0	1943(昭和18)頃	軸装	
山百合	紙・鉛筆	47.0×59.0	制作年不明	額装	
ムクゲ	紙・墨・鉛筆淡彩	13.0×19.0	1901(明治34)	額装	
ギボウシ	紙・墨・鉛筆淡彩	13.0×19.0	1901(明治34)	額装	
へちまのつる	紙・墨・鉛筆	13.0×19.0	1901(明治34)	額装	
へちま	紙・墨・鉛筆	34.5×13.0	1901(明治34)	額装	
柘榴	紙・鉛筆・色鉛筆淡彩	36.7×49.8	1949(昭和24)	額装	
茗荷	紙・鉛筆・色鉛筆淡彩	26.0×34.0	1949(昭和24)	額装	
菊	絹・彩色	47.3×53.8	大正時代	額装	

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
リレー・トーク 「齋藤三郎、人と芸術」	① 7月17日(月・祝) ② 9月9日(土) 各回 14:00～	142 人	・ 齋藤三郎の人となりや芸術について、作品を見ながら語ってもらうトークイベントを開催した。 ① 齋藤尚明氏（二代陶齋） ② 杉田玄氏（樹下美術館館長・医師）
タッチ&トーク	① 7月22日(土) ② 8月20日(日) ③ 9月16日(土) 各回 14:00～	14 人	・ 作品を鑑賞した後、実際に作品に触れてもらうイベントを開催した。
美術館で夏やすみ！	8月5日(土) 10:00～16:00	249 人	・ 風鈴絵付けや植木鉢づくり、なぞ解きゲーム、縁日等が楽しめるイベントを開催した。
雪国の窯上映会 (全18日間、36回)	8月19日(土)～ 10月9日(月・祝) までの土、日曜日、 祝日 ① 11:00～ ② 15:00～	359 人	・ 昭和48年に放映されたBSN番組「雪国の窯」(30分)を上映した。 協力：BSN新潟放送
① 樹下美術館との相互割引 ② 着物割 ③ 三郎さん割	会期中	① 15 人 ② 8 人 ③ 1 人 計 24 人	・ 広報を兼ねて、本展にちなんだ割引入館料を設定した。



リレー・トーク 齋藤尚明氏（二代陶齋）



リレー・トーク 杉田玄氏（樹下美術館館長）

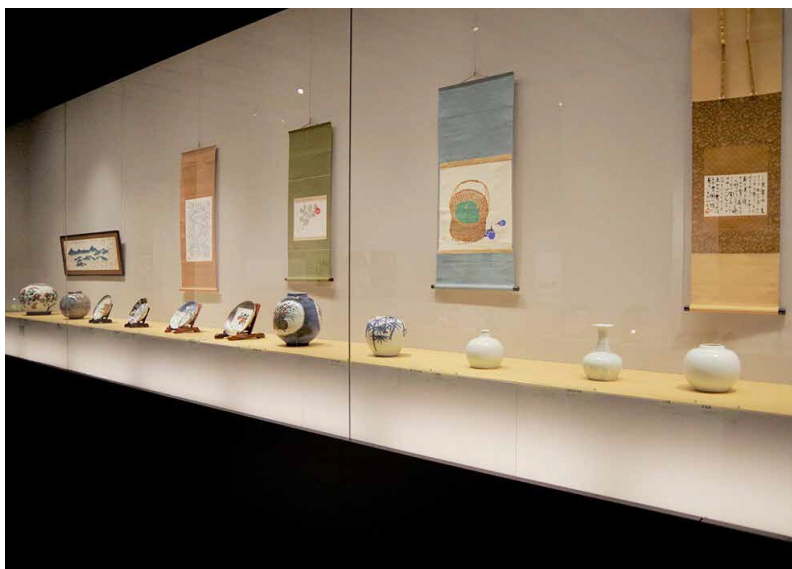


タッチ&トーク



美術館で夏やすみ！

「生誕 110 年 齋藤三郎展」展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：生誕140年 小林古径の世界

会 期：令和5年10月21日（土）～11月19日（日）30日間
※会期中無休

会 場：小林古径記念美術館

開 催 内 容：上越市出身の日本画家・小林古径の生誕140年を記念し、初期から晩年までの作品を展示した。あわせて小林古径邸（国登録有形文化財）や画室を紹介し、作品のみならず、古径の人となりまでも感じてもらう機会とした。

主な展示作品：《極楽井》（東京国立近代美術館）《芥子》（東京国立博物館）、《竹取物語》（京都国立近代美術館）、《禄》（茨城県近代美術館）、《桜町中納言》（二階堂美術館）ほか

そ の 他：展覧会図録として「生誕140年 小林古径の世界」（A5判、184頁、カラー、頒布価格2,000円）を作成した。

担当学芸員：笹川修一・伊藤舞実



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,465 人	961 人	3,426 人
幼・小・中・高	115 人	212 人	327 人
計	2,580 人	1,173 人	3,753 人

・1日平均125人、有料入館率：69% 目標入館者数：8,000人

《展示作品リスト》

作品名	材質・技法	寸法(cm)	制作年(和暦)	所蔵先
■第1章 古径芸術の萌芽				
少女	絹・彩色	67.8×54.8	1898(明治31)頃	小林古径記念美術館
撰取	絹・彩色	115.0×70.0	1905(明治38)	福井県立美術館
少女	絹・彩色	29.3×23.0	1907(明治40)	個人蔵
神崎の窟	絹・彩色	180.0×109.0	1907(明治40)	佐野市立吉澤記念美術館
禄	絹・彩色	152.3×70.8	1908(明治41)	茨城県近代美術館
為朝	絹・彩色	33.5×26.5	1909(明治42)頃	二階堂美術館
加賀鳶	絹・彩色	85.7×115.4	1910(明治43)	東京国立近代美術館
重盛	絹・彩色	124.5×41.0	1911(明治44)頃	小林古径記念美術館
山水	絹・彩色	56.4×74.7	1912(明治45)	二階堂美術館
極楽井	絹・彩色	194.3×101.2	1912(大正元)	東京国立近代美術館
■第2章 大正期の飛躍				
伊勢物語	紙・彩色	各31.3×25.6	1915(大正4)	伊豆市
桜町中納言	絹・彩色	124.3×50.4	1917(大正6)	二階堂美術館
竹取物語	紙・彩色	45.0×659.5	1917(大正6)	京都国立近代美術館
羅浮仙	絹・彩色	各115.2×24.0	1917(大正6)	Jマテ、ホールディングス株式会社
麦図	紙・彩色	144.0×105.0	1919(大正8)	東京国立博物館
芥子	絹・彩色	165.0×99.6	1921(大正10)	東京国立博物館
機織	絹・彩色	137.0×171.5	1926(大正15)	東京国立近代美術館
鶴	絹・彩色	142.0×51.4	1927(昭和2)頃	小林古径記念美術館寄託 (田中産業株式会社)
犬(庭の一隅)	絹・彩色	175.7×106.0	1932(昭和7)	歌舞伎座
■第3章 戦時下での制作				
唐蜀黍	紙・彩色	各167.6×181.0	1939(昭和14)	東京国立近代美術館
観音	紙・彩色	177.7×117.2	1940(昭和15)	霊友会妙一コレクション
【10月21日～11月3日 展示】				
小町	紙・彩色	61.8×75.1	1941(昭和16)	個人蔵
旭陽	紙・彩色	72.6×89.0	1942(昭和17)	個人蔵

大仏殿 【11月4日～11月19日 展示】	紙・彩色	48.2×51.3	1942(昭和17)	小林古径記念美術館
橋	絹・彩色	57.6×72.1	1942(昭和17)	東京国立近代美術館
紅梅	紙・彩色	73.5×91.0	1943(昭和18)	東京国立近代美術館
栗	紙・彩色	69.0×91.5	1944(昭和19)	東京国立近代美術館
富士	紙・彩色	74.0×90.0	1944(昭和19)	東京国立近代美術館
馬郎婦	紙・彩色	72.9×90.5	1944(昭和19)	東京国立近代美術館

■第4章 成熟の古径芸術

梅にうぐいす	紙・彩色	48.0×64.4	1947(昭和22)	小林古径記念美術館
童女	紙・彩色	98.7×49.6	1947(昭和22)	個人蔵
木実	紙・彩色	55.2×74.5	1949(昭和24)	リベラ株式会社
食後	紙・彩色	124.3×82.2	1949(昭和24)	株式会社大和証券 グループ本社
壺	絹・彩色	121.2×84.9	1950(昭和25)	茨城県近代美術館
丘	紙・彩色	50.6×69.4	1951(昭和26)	小林古径記念美術館
瓶花（スイートピー）	紙・彩色	96.2×58.5	1952(昭和27)	株式会社ジャパンヘルスマット
無花果	紙・彩色	46.9×35.8	1954(昭和29)	個人蔵
不二	紙・彩色	24.0×33.0	1954(昭和29)	個人蔵
牡丹（未完、絶筆）	紙・彩色	54.6×72.5	—	小林古径記念美術館

資料名	制作年(和暦)	寸法(cm)	材質・技法・員数
-----	---------	--------	----------

■第5章 関係資料で古径を知る ※所蔵はすべて小林古径記念美術館

二十四孝すごろく（『幼年の友』附録）	1915(大正4)	39.0×55.0	紙・印刷・1面
梶田半古塾生寄せ書き	明治末頃	35.5×6.0	紙・淡彩・1面

資料名	制作年(和暦)	寸法(cm)	材質・技法
-----	---------	--------	-------

【書簡（葉書）】

三好万寿宛	1908(明治41)	14.0×9.0	紙・淡彩
三好益宛	1908(明治41)	14.0×9.0	紙・墨画
三好益宛	1909(明治42)	14.0×9.0	紙・墨画
三好益宛	1910(明治43)	14.0×9.0	紙・淡彩
三好益宛	1910(明治43)	14.0×9.0	紙・墨画
三好益宛	1910(明治43)	14.0×9.0	紙・淡彩
三好益宛	1910(明治43)	14.0×9.0	紙・墨画
古径・神斧から清水義雄宛	1910(明治43)	14.0×9.0	紙・淡彩
小林益宛	1915(大正4)	14.0×9.0	紙・墨画
小林益宛	1919(大正8)	14.0×9.0	紙・淡彩
通・玲宛	1920(大正9)	14.0×9.0	紙・墨画
小林益宛	1921(大正10)	14.0×9.0	紙・墨画
小林古径・前田青邨宛	1923(大正12)	9.0×14.2	紙・墨画

資料名	制作年(和暦)	寸法(cm)	員数
文化勲章及び勲記	1950(昭和25)	35.5×51.0	1面
文化功労者顕彰状	1951(昭和26)	35.5×51.0	1面
旭日重光章及び勲記	1957(昭和32)	35.5×51.0	1面
天皇陛下御下賜 祭染料	1957(昭和32)	71.2×18.0	1面
従三位叙勲記	1957(昭和32)	21.8×28.8／20.0×28.8	1面
弔辞 日本芸術院長 高橋誠一郎	1957(昭和32)	18.8×231.0	1面
弔辞 文部大臣 灘尾弘吉	1957(昭和32)	19.1×178.4	1面
院葬の辞 日本美術院代表 前田青邨	1957(昭和32)	27.3×155.4	1面

作品名	刊行年(和暦)	出版社
-----	---------	-----

【装丁の世界】

志賀直哉『暗夜行路』	1943(昭和18)	座右寶刊行会
志賀直哉『朝顔』	1954(昭和29)	中央公論社
志賀直哉『山鳩』	1952(昭和26)	中央公論社
川端康成『千羽鶴』	1953(昭和27)	筑摩書房
本間久雄『英國近世唯美主義の研究』	1934(昭和9)	東京堂出版
室生犀星随筆『女ひと』	1955(昭和30)	新潮社
上山草人『蛇酒』	1917(大正6)	阿蘭陀書房
武原はん句集『小鼓』	1954(昭和29)	琅玕洞
日本陶磁協会『陶説』29号・30号	1955(昭和30)	日本陶磁協会
添田達嶺『半古と楓湖』	1955(昭和30)	睦月社
『菊がさね』	1956(昭和31)	単式印刷
『短歌研究』	1933(昭和8)12月号	改造社
『ホトトギス』	1939(昭和14)12月号	ほととぎす発行所
『群像』	1947(昭和22)8月号	大日本雄辯會講談社

(3) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
子ども向けワークショップ 「オリジナル絵巻をつくろう！」	10月28日（土） 13:30～15:30	小学生9人	絵巻《竹取物語》を鑑賞し、絵巻の特徴や魅力を知った後、実際に絵巻の特徴を生かした作品作りを行った。 （講師：洞谷亜里佐氏）
学芸員によるスライドトーク 「小林古径 生涯と作品」	11月3日（金・祝） 13:30～15:00	一般30人	小林古径の生涯と作品についてスライドを使用して解説した。 （講師：笹川統括学芸員）
紅葉ライトアップ	11月11日（土）～ 11月19日（日） 日没～19:00	—	紅葉の時期に合わせて庭園ライトアップを実施した。ライトアップに合わせ、開館時間を19:00まで延長した。
サロンコンサート～ハーブ とフルートの響き～	11月11日（土） 17:30～20:00	一般32人	展覧会鑑賞とハーブ・フルートの演奏会（軽食・ワイン付き）を実施した。 （協賛：Jマテ・ホールディングス(株)、おひさま耳鼻咽喉科）
親子向けコンサート ～ハーブで奏でるジブリ& ディズニー～	11月12日（日） 13:30～14:00	親子38組 （120人）	・演奏を楽しんだ後に、親子で展示を鑑賞した。 （協賛：Jマテ・ホールディングス(株)、おひさま耳鼻咽喉科）



子ども向けワークショップ「オリジナル絵巻をつくろう！」



学芸員によるスライドトーク「小林古径 生涯と作品」



サロンコンサート～ハーブとフルートの響き～



親子向けコンサート～ハーブで奏でるジブリ&ディズニー～

(4) 他館との連携事業

イベント名	実施日	参加者数	内 容
林富永邸との連携展示	10月21日（土）～ 11月19日（日）	—	今年築140年を迎える林富永邸内に、古径の原寸大複製画を展示した。
上越市立水族博物館 うみがたりとの連携展示	10月21日（土）～ 11月19日（日）	—	上越市立水族博物館で、古径が描いた魚の複製画を展示したほか、水族館で開催された「イルカの造形美 シュプリングエン 飛翔 宮田亮平の世界展」に合わせ、宮田亮平氏の作品6点を二ノ丸ホールで展示した。

「生誕 140 年 小林古徑の世界」展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：生誕140年記念 古径さんの素描

会期：令和5年12月2日（土）～令和6年3月10日（日）81日間

会場：小林古径記念美術館

開催内容：当館所蔵の約1,300点にのぼる小林古径の素描作品は作品制作過程を知る上で非常に貴重な資料である。古径の生誕140年を記念し、素描作品の中から古典絵画や寺社宝物の模写、身近な動植物の写生などバラエティに富んだ作品を展示した。

主な展示作品：《菊》《柘榴・柿ほか》《郁子》《牡丹》（全て小林古径作、小林古径記念美術館所蔵）

その他：2月11日（日・祝）は小林古径生誕日につき、終日入館無料とし午後7時まで延長開館を実施。

担当学芸員：小川陽子・市川高子



(2) 入館者の状況

区分	有料	無料	合計
一般	707人	1,163人	1,870人
幼・小・中・高	38人	338人	376人
計	745人	1,501人	2,246人

・1日平均28人、有料入館率：33% 目標入館者数：2,000人

〈展示作品リスト〉

作品名	分類	材質・技法	寸法(cm)	制作年(和暦)	形状	備考
第1章：「素描」って何だ？						
朝顔	本画	絹・彩色	119.5×36.1	1928(昭和3)頃	軸装	齋藤弘氏寄贈
八仙花	本画	絹・彩色	128.4×41.4	1928(昭和3)	軸装	齋藤弘氏寄贈
蓼	習作	紙・彩色	73.4×46.5	1945(昭和20)～1954(昭和29)	軸装	Jマテ・ホールディングス株式会社寄託
紅梅	習作	紙・墨・彩色	91.0×86.5	1951(昭和26)	軸装	田中産業株式会社寄贈
枇杷	習作	紙・墨・彩色	34.2×56.2	1943(昭和18)	軸装	田中産業株式会社寄贈
日蓮	下図	紙・墨・彩色	43.0×61.0	1910(明治43)	額装	
朝顔	写生	紙・鉛筆・彩色	57.0×45.0	—	額装	
八仙花	写生	紙・墨	39.7×59.1	1944(昭和19)	額装	
枇杷	写生	紙・鉛筆・彩色	36.7×49.8	1949(昭和24)	額装	
菊	写生	紙・墨	29.0×27.0	—	額装	
菊	写生	紙・墨	24.0×33.0	—	額装	
菊	写生	紙・墨	24.0×33.0	—	額装	
菊	習作	紙・彩色	34.5×43.0	—	額装	
金泥(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈
連筆(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈
刷毛(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈
筆(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈
乳鉢(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈
乳棒(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈
顔料(小林古径旧蔵品)	資料	—	—	—	—	深見實郎氏寄贈

第2章：古径さんの「模写」

秋香（小林古径） 榊原康政檄文染筆之図	本画	絹・彩色	36.7×85.0	1899(明治32)頃	額装	公益財団法人旧高田藩和親会寄託
兜	模写	紙・墨	26.5×37.5	明治時代末	額装	
兜	模写	紙・墨	26.5×37.5	1902(明治35)頃	額装	
小手	模写	紙・墨・彩色	26.5×37.5	1901(明治34)	額装	
梅檀板・鳩尾板・小手	模写	紙・墨	26.5×37.5	1902(明治35)頃	額装	
武士	模写	紙・墨	26.5×37.5	明治時代末	額装	
最上屏風	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
後三年合戦絵詞（下巻）	模写	紙・墨・彩色	26.7×38.5	—	額装	
平治物語絵詞（六波羅合戦巻）	模写	紙・墨	54.5×78.8	—	額装	
平治物語絵詞（六波羅合戦巻）	模写	紙・墨	54.5×78.8	—	額装	
梶田 半古 おくに歌舞伎	本画	絹・彩色	120.4×50.4	—	軸装	諸隈裕一氏寄贈
梶田 半古 おくに歌舞伎	下図	紙・墨	86.4×51.7	—	軸装	諸隈裕一氏寄贈
桜町中納言	模写	紙・墨	18.5×26.5	1902(明治35)頃	額装	
梶田半古挿画模写（読売新聞）	模写	紙・墨	26.5×37.5	1902(明治35)頃	額装	
読売新聞「紺暖簾」挿絵	模写	紙・墨	26.5×37.5	1902(明治35)頃	額装	
読売新聞「紺暖簾」挿絵	模写	紙・墨	26.5×18.5	1902(明治35)頃	額装	
梶田半古挿画模写（読売新聞）	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
人物図・梶田半古挿画	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
菊池 容斎『前賢放実』	書籍	紙・印刷	25.8×18.5	明治時代末	書籍	
『国史大辞典挿絵及年表』（小林古径 旧蔵品）	書籍	紙・印刷	26.0×19.5	1908(明治41)	書籍	深見實郎氏寄贈
梶田 半古『画事入門』	書籍	紙・印刷	22.5×15.5	1908(明治41)	書籍	
『古美術写真集英』（小林古径 旧蔵品）	書籍	紙・印刷	37.0×26.0	1942(昭和17)	書籍	深見實郎氏寄贈
婦人の心得	模写	紙・墨・鉛筆	26.5×18.5	—	額装	
人物像（装丁）	模写	紙・墨	26.5×18.5	—	額装	
表紙絵	模写	紙・墨・鉛筆	26.5×18.5	—	額装	
魔風恋風（装丁）小杉天外著	模写	紙・墨	26.5×18.5	—	額装	
顔相	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
人物	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
天神（小堀鞆音作品模写）	模写	紙・墨・鉛筆・彩色	31.0×27.0	—	額装	
寺崎廣業作品（模写）	模写	紙・墨・彩色	26.5×37.5	1902(明治35)頃	額装	
室町時代子遊の図	模写	紙・墨・彩色	26.7×19.1	—	額装	
應永頃迄の遊女の風俗（小堀鞆音作品模写）	模写	紙・彩色	26.5×18.5	1902(明治35)頃	額装	
三墓里第一古墳玄室壁画	模写	紙・鉛筆・彩色	21.0×27.0	—	額装	
三墓里第一古墳玄室壁画天井持送り	模写	紙・鉛筆・彩色	21.0×27.0	—	額装	
三墓里第一古墳唐草文様	模写	紙・墨・彩色	21.0×27.0	—	額装	
はにわ	模写	紙・墨	28.0×40.0	1912(明治45)	額装	
馬形埴輪	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
紋様	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
正倉院御物紋様	模写	紙・墨	26.5×37.5	明治時代	額装	
正倉院御物紋様	模写	紙・墨	27.0×30.0	—	額装	
花卉双羊文錦（正倉院）	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
法隆寺・東寺宝物の紋様	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
法隆寺紅牙鏤尺紋様・挿画図案	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
正倉院金銀平文琴・法隆寺紅牙撥鏤尺	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
投壺と投壺矢	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
融通念仏縁起	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
種字曼荼羅	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
平家納経（厳王品見返し絵）	模写	紙・墨	29.0×20.0	—	額装	
平家納経	模写	紙・墨	26.5×18.5	1902(明治35)頃	額装	
銅鈎釣灯籠	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	
福富草子	模写	紙・墨・鉛筆・彩色	23.6×15.8	—	額装	
扇面法華経冊子	模写	紙・墨・彩色	27.0×39.0	—	額装	
扇面法華経冊子	模写	紙・墨・彩色	19.0×27.0	—	額装	
扇面法華経冊子	模写	紙・墨・彩色	22.0×27.0	—	額装	
扇面法華経冊子	模写	紙・墨・鉛筆・彩色	23.6×15.7	—	額装	
舞楽（東遊）	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装	

紙本金地着色風俗図（彦根屏風）	模写	紙・墨	26.5×18.5	—	額装
白描絵料紙 金光明経（目無経）	模写	紙・墨	26.0×57.0	—	額装
紫式部日記絵詞	模写	紙・墨・彩色	21.0×36.0	—	額装
風景	模写	紙・墨・彩色	37.0×53.0	—	額装
波	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装
流水図	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装
波	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装
波	模写	紙・墨	26.5×37.5	—	額装
絵巻	模写	紙・墨・彩色	32.5×115.0	—	額装
信貴山縁起絵巻（加持祈祷巻）	模写	紙・墨	26.5×37.5	1902(明治35)頃	額装
信貴山縁起絵巻（飛倉巻）	模写	紙・墨・彩色	28.0×40.0	—	額装
信貴山縁起絵巻（尼公巻）	模写	紙・墨	28.0×40.0	—	額装
信貴山縁起絵巻（飛倉巻）	模写	紙・墨・彩色	28.0×40.0	—	額装
大仏殿	習作	紙・墨	54.0×50.0	—	額装
大仏殿	本画	紙・彩色	48.2×51.3	1942(昭和17)	軸装
東大寺戒壇院厨子屏絵	模写	紙・墨	53.0×32.0	—	額装
不動	模写	紙・墨	40.0×28.0	—	額装
第3章：古径さんの「写生」					
にわとり	写生	紙・墨	26.5×37.5	—	額装
おしどり	写生	紙・墨・彩色	26.5×37.5	—	額装
猫	写生	紙・墨	18.5×26.7	—	額装
鳩	写生	紙・墨	26.5×37.5	—	額装
里寸	本画	絹・彩色	121.2×36.0	1936(昭和11)	軸装 齋藤弘氏寄贈
鮎	写生	紙・鉛筆・彩色	28.0×38.0	—	額装
りす	写生	紙・鉛筆・色鉛筆	22.0×42.5	—	額装
金魚	写生	紙・墨・彩色	22.0×29.0	—	額装
牛	習作	紙・墨	41.5×42.8	1943(昭和18)	額装
子犬	習作	紙・彩色	77.2×47.0	1935(昭和10)頃	額装 山岸邦夫氏遺贈
ヒオウギ	写生	紙・墨・鉛筆・彩色	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
秋海棠	写生	紙・墨・鉛筆・彩色	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
ツユクサ、サルスベリ	写生	紙・墨・鉛筆・彩色	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
ヘチマの花	写生	紙・墨・鉛筆・彩色	13.0×34.5	1901(明治34)	額装
ホオズキ	写生	紙・墨・鉛筆	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
モミジ	写生	紙・墨・鉛筆	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
タマスダレ	写生	紙・墨・鉛筆・彩色	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
サルスベリ	写生	紙・墨・鉛筆・彩色	13.0×19.0	1901(明治34)	額装
郁子	習作	紙・彩色	46.3×60.0	1942(昭和17)	額装 田中産業株式会社寄贈
ヴェネチア風景	写生	紙・鉛筆・彩色	16.0×23.0	—	額装
エジプトの女王	写生	紙・鉛筆・彩色	35.6×24.5	1923(大正12)	額装
エジプトミイラ女人	写生	紙・鉛筆・彩色	24.5×35.6	1923(大正12)	額装
牡丹	写生	紙・墨・彩色	26.5×37.5	1902頃(明治35)	額装
牡丹	写生	紙・鉛筆・彩色	36.7×49.8	1949(昭和24)	額装
牡丹	写生	紙・鉛筆・色鉛筆	46.0×55.0	—	額装
牡丹	本画	紙・彩色	59.0×76.4	1951(昭和26)	軸装
牡丹	写生	紙・墨・鉛筆	26.5×36.0	—	額装
牡丹	写生	紙・鉛筆	36.0×26.5	—	額装
牡丹	写生	紙・鉛筆	26.5×36.0	—	額装
牡丹	写生	紙・彩色	36.0×26.5	—	額装
牡丹	写生	紙・鉛筆	26.5×36.0	—	額装
牡丹	写生	紙・墨	25.0×36.0	—	額装
牡丹	写生	紙・鉛筆	36.0×26.5	—	額装
牡丹	下図	紙・墨	61.8×57.6	—	額装
椿	写生	紙・鉛筆・色鉛筆・彩色	36.7×49.8	1950(昭和25)	額装
椿	本画	絹・金地彩色	27.2×24.1	—	額装 齋藤弘氏寄贈
ちゅうりっぷ	写生	紙・鉛筆・色鉛筆	34.0×50.0	1947(昭和22)頃	額装
草花図	習作	紙・彩色	72.0×46.6	1947(昭和22)	額装 山岸邦夫氏遺贈
ちゅうりっぷ	下図	紙・墨・鉛筆・彩色	59.7×52.8	1951(昭和26)頃	額装

柘榴	写生	紙・鉛筆・彩色	39.0×32.0	—	額装	
柿	習作	紙・彩色	35.0×42.0	—	額装	
柘榴・柿ほか	写生	紙・鉛筆・色鉛筆	36.7×49.8	1949(昭和24)	額装	
柿	写生	紙・鉛筆・色鉛筆・彩色	36.7×49.8	1949(昭和24)	額装	
写生帳	資料	紙・墨・鉛筆・彩色	—	—	冊子	
スケッチブック	資料	紙	22.0×19.0	—	冊子	深見實郎氏寄贈
梅花旅硯（小林古径旧蔵品）	資料	木・石・金属	12.5×6.8	—		
大野寺写生	写生	紙・鉛筆	28.0×42.0	1932(昭和7)	額装	
大野寺写生	写生	紙・鉛筆	28.0×42.0	1932(昭和7)	額装	
大野寺写生	写生	紙・鉛筆	42.0×28.0	1932(昭和7)	額装	
弥勒（部分）	下図	紙・墨	21.5×17.6	1933(昭和8)	額装	
弥勒	写生	絹・彩色	207.7×85.2	1933(昭和8)	額装	原寸大デジタル複製画 原作品：山種美術館蔵
弥勒（部分）	下図	紙・墨	21.5×17.6	1933(昭和8)	額装	
弥勒	習作	紙・墨・鉛筆	42.0×18.0	1932(昭和7)	額装	
大野寺写生	写生	紙・鉛筆	42.0×28.0	1932(昭和7)	額装	
大野寺写生	写生	紙・鉛筆・彩色	28.0×42.0	1932(昭和7)	額装	
大野寺写生	写生	紙・鉛筆	28.0×42.0	1932(昭和7)	額装	
大野寺写生	写生	紙・鉛筆	42.0×28.0	1932(昭和7)	額装	
蒼	習作	紙・彩色	56.0×45.5	1955(昭和30)	額装	
（エントランス展示）安田 鞞彦 紅梅	—	紙・彩色	26.5×35.0	—	額装	甲斐國子氏寄贈

作家名	作品名	分類	材質・技法	寸法(cm)	制作年(和暦)	形状	備考
■上越市ゆかりの作家が描いた素描作品（ギャラリー・二ノ丸ホール）							
牧野 虎雄	収穫風景	写生	紙・彩色	20.2×25.0	1908(明治41)～1913(大正2)	額装	
川合 清	干し柿	写生	紙・彩色	36.0×51.0	1993(平成5)	額装	川合喜美子氏寄贈
川合 清	唐松	下図	紙・鉛筆	52.0×35.5	—	額装	川合喜美子氏寄贈
川合 清	S子	写生	紙・鉛筆	50.8×38.0	—	額装	川合喜美子氏寄贈
岩野 勇三	自画像	写生	紙・鉛筆	26.8×21.0	1950(昭和25)～1959(昭和34)	額装	岩野亮介氏寄贈
岩野 勇三	石膏像	写生	紙・鉛筆	20.3×28.9	1950(昭和25)	額装	岩野亮介氏寄贈
岩野 勇三	裸婦像	写生	紙・コンテ	38.2×27.0	—	額装	岩野亮介氏寄贈
岩野 勇三	休むモデル	写生	紙・鉛筆	35.0×25.0	—	額装	岩野亮介氏寄贈
斎藤 真一	越後筒石	写生	紙・彩色	26.8×34.0	1964(昭和39)	額装	池田敏章氏寄贈
斎藤 真一	「明治吉原細見記」より	—	紙・鉛筆・彩色	26.5×18.0	1986(昭和61)	額装	池田敏章氏寄贈
倉石 隆	高田の街	写生	紙・コンテ	11.0×14.0	1945(昭和20)～1950(昭和25)	額装	倉石翠氏寄贈
倉石 隆	高田の街	写生	紙・コンテ	16.0×23.0	1945(昭和20)～1950(昭和25)	額装	倉石翠氏寄贈
倉石 隆	左手によるデッサン帖より	写生	紙・鉛筆・コンテ	24.0×35.0	1994(平成6)	額装	倉石翠氏寄贈
倉石 隆	左手によるデッサン帖より	写生	紙・インク・コンテ	40.2×28.5	1991(平成3)	額装	倉石翠氏寄贈
水島 清	ヴァンス風景	写生	紙・ペン	8.7×23.2	—	捲り	原田新治氏寄贈
水島 清	素描 陸地進入図	写生	紙・コンテ	24.0×29.0	—	捲り	西條維久江氏寄贈
水島 清	素描 母子像	写生	紙・鉛筆・淡彩	37.5×29.0	—	捲り	西條維久江氏寄贈
水島 清	素描 ヤマランガ女	写生	紙・鉛筆・水彩	36.6×26.7	—	捲り	西條維久江氏寄贈
水島 清	素描 少年	写生	紙・鉛筆	37.7×28.7	—	捲り	西條維久江氏寄贈
水島 清	スペイン サラゴサ	写生	紙・パステル	25.5×22.5	1989(平成元)	額装	斎藤弘氏寄贈
牧野 虎雄	スケッチブック（2冊）	写生	紙・鉛筆・彩色	12.8×18.1 14.5×19.0	1945(昭和20)頃	冊子	牧野勝夫・康子氏寄贈
牧野 虎雄	画帖	—	紙・墨	39.5×29.0 (6冊のうち)	—	画帖	有限会社 ギャラリー一祥寄贈

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
学芸員による ギャラリートーク	① 12 月 9 日 (土) ② 1 月 14 日 (日) ③ 3 月 9 日 (土) 各回 13:30 ~ 14:30	① 10 人 ② 3 人 ③ 10 人 計 23 人	学芸員と一緒に展示を鑑賞し、作品についてゲームやクイズを交えながら解説を行った。
古径さんの作品で「上げ写し」技法を体験してみよう！	12 月 16 日 (土) 13:30 ~ 15:00	6 人	展示室で作品を鑑賞した後、実際に古径さんの作品で上げ写し技法を体験した。
古径さんの作品の「線」を 引いてみよう！	会期中 ※ 2 月 11 日 (日) を除く。	延べ 110 人	古径さんになりきって、展示作品の線を引くイベント。
小林古径生誕記念日 キャンドルナイト 2024	2 月 11 日 (日)	総入館者数：830 人 ①②合計 70 人 ② 85 人 ③和菓子セット 70 人 抹茶のみ 18 人	・展示解説・古径邸建築ツアー ① 11:00 ~ 11:40 ② 13:00 ~ 13:40 ・雪灯籠・雪だるま作り 13:00 ~ 15:00 ③茶席 16:00 ~ 18:30



古径さんの作品の「線」を引いてみよう！



古径さんの作品で「上げ写し」技法を体験してみよう！



小林古径生誕記念日キャンドルナイト 2024



展示解説・古径邸建築ツアー

生誕 140 年記念「古径さんの素描」展示風景



(1) 美術館主催・共催イベント・サービス

イベント名	開催日	会 場	参加者数	内 容
よちよちタイム	開館中の火曜日 9:00～12:00 (12月～3月は 10:00～12:00) 全40回実施	二ノ丸 ホール	保護者：51人 乳幼児：59人 計：110人 (40回)	未就学児の保護者が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名無料とした。ホール内に自由に遊ぶおもちゃや絵本を用意した。
彫刻びかびか★大作戦	5月14日(日) 9:00～11:30	高田城址 公園内	一 般10人 大学生1人 中学生1人 計12人	高田城址公園内のブロンズ彫刻作品を清掃し、ワックスを塗って仕上げた。ブロンズ彫刻に触れ、関心を持ってもらう契機とした。
スペシャル☆よちよちタイム	5月23日(火) 10:00～12:00	二ノ丸 ホール	13人 (乳幼児と 保護者6組)	乳幼児とその保護者向けのイベント。絵本読み聞かせや作品を「みる」「描く」体験を通して、美術館やアートに親しんでもらった。
こどものための美術館ガイド 「きつぷ★アートチャレンジ」	—	美術館内	134人	小林古径や展示作品、日本画の絵具に関する問題を解き、子どもたちに美術館を気軽に親しんでもらう取り組みを行った。
スマートフォン向けアプリ 「ポケット学芸員」	—	—	—	展示作品画像や解説を、自分のスマートフォンから楽しむことができるアプリで、展示室にある解説文や作品画像を楽しむことができる。

(2) 出張講座

内容	団体名	実施期日	人数	備考
日本画体験	上越教育大学附属小学校 6年生	5月2日(火)	36人	来館・体験
	南城高校 3年生	10月5日(木)	20人	
	大和小学校 1～6年生	10月27日(金)	30人	
	高田図書館	11月5日(日)	8人	
	糸魚川中学校 2年生	12月6日(水) 8日(金)	138人	体験
	大手町小学校	12月14日(木)	44人	来館・体験
鑑賞	糸魚川中学校 2年生	12月13日(水)	138人	オンライン
合計			414人	

(3) 画材貸出

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット(木箱入り)	岩絵具の原石や岩絵具見本、和紙の原料や紙・絹見本、墨、金箔など
使用キット	岩絵具セット、水干絵具セット、胡粉、顔彩セット、筆や絵皿など
日本画制作過程見本	8工程からなる日本画の制作過程見本(F6サイズボード)
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一回につき約5点まで。

貸し出し状況

団体・学校名	期 日	内 容
洞谷亜里佐氏(上越教育大学教授)	4月18日(火)～4月22日(土)	大学の講義で使用するため、日本画キット貸出

(4) 団体見学

期 日	人数	団体・学校名	備考
4月5日(水)	8人	日本旅行ジパング	
4月6日(木)	6人		
4月6日(木)	30人	長野・上越地域連携協議会(商工会議所)	鑑賞会+食事会
4月7日(金)	33人	株式会社小柳善三郎商店	
4月7日(金)	20人	高田城址公園観桜会×小林古径記念美術館特別鑑賞プラン 「専門ガイド付き鑑賞会+特別ディナー」	鑑賞会+食事会
4月9日(日)	28人	新潟交通くれよん	
4月11日(火)	219人	城北中学校	
4月15日(土)	16人	増田建設(株)清友会	
4月30日(日)	61人	フカミ美術月釜茶会	

5月2日(火)	34人	上越教育大学附属小学校6年生	
5月20日(土)	63人	フカミ美術月鑑茶会	
5月23日(火)	22人	上越教育大学×アイオワ大学	見学+茶道体験
5月24日(水)	10人	雄志中学校2年生	
5月26日(金)	20人	新日本婦人の会 あやめ班	
6月8日(木)	45人	高志小学校	
6月13日(火)	47人	高田高校1年生	
6月14日(水)	19人		
6月15日(木)	15人		
6月16日(金)	26人		
6月18日(日)	65人	フカミ美術月鑑茶会	
6月28日(水)	13人	北城4丁目老人会(北陽会)	
7月15日(土)	30人	協同組合ハイコープ	
7月19日(水)	12人	新津洋画グループ	
7月30日(日)	65人	フカミ美術月鑑茶会	
8月26日(土)	56人	フカミ美術月鑑茶会	
9月3日(日)	11人	未来悠々の会	
9月10日(日)	7人	三越伊勢丹ニコウトラベル	
9月12日(火)	32人	ギャラリーライム	
9月20日(水)	11人	上越春秋会	
9月24日(日)	20人	上越建築組合南支部	
9月24日(日)	59人	フカミ美術月鑑茶会	
10月3日(火)	26人	八千浦中学校	
10月8日(日)	84人	フカミ美術月鑑茶会	直江津中等26名含む
11月2日(木)	24人	新潟南福祉会	
11月2日(木)	17人	三郷小学校	
11月2日(木)	20人	新潟日報メディアシップブランド旅行センター	
11月8日(水)	17人	板倉区町内会長先進地視察	
11月8日(水)	12人	つくば開成高校	
11月13日(月)	29人	上越総合技術高校	
11月14日(火)	51人		
11月15日(水)	40人	上越市学校教育研究部会図工・美術	講演+展示解説
11月15日(水)	10人	天宗寺	
11月14日(火)	19人	クラブツーリズム 華麗なる邸宅巡り	
11月16日(木)	25人		
11月16日(木)	27人	牧区公民館	
11月17日(金)	35人	上越教育大学附属小学校3年生	
12月14日(木)	38人	大手町小学校	
12月17日(日)	10人	池坊の会	
1月27日(土)	20人	行政書士会上越支部	講演+展示解説
1月30日(火)	20人	浦項市高校生交流事業	
2月17日(土)	38人	ハミングツアー	
2月22日(木)	32人	上越総合技術高校	
3月5日(火)	103人	春日小学校3年生	

※合計53件、うち学校団体16件(小学校5件、中学校3件、高校8件)

(5) 博物館実習の受け入れ(上越市立歴史博物館との共同事業)

実習日: 令和5年8月1日(火)～8月5日(土)5日間

実習者: 1人(富山大学芸術文化学部4年)

(6) 中学生職場体験の受け入れ

実習日: 令和5年9月12日(火)～14日(木)3日間

実習者: 4人(城東中学校)

(1) 作品収集

①購入作品：該当なし

②寄贈作品

(1) 日本画

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	梶田 半古	騎龍観音	1893	絹・彩色	1 幅
2	橋本 龍美	草人中	1986	紙・彩色	1 幅
3	横山 操	夕湖	不明	紙・金銀・彩色	1 幅
4	安田 靱彦	良寛和尚	不明	紙・墨・彩色	1 幅
5	小林 古径	羅浮仙	1917	絹・彩色	3 幅対

(2) 油彩画

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	杉本 善男	夏日妙高	1970	カンヴァス・油彩	1 面
2	牧野 虎雄	風景	大正末頃	カンヴァス・油彩	1 面
3	牧野 虎雄	牡丹	1940 頃	カンヴァス・油彩	1 面
4	牧野 虎雄	黄水仙	1942	カンヴァス・油彩	1 面
5	牧野 虎雄	菊懸崖	不明	板・油彩	1 面
6	牧野 虎雄	梅	不明	板・油彩	1 面
7	増谷 直樹	ブラーノの運河	2000	カンヴァス・油彩	1 面
8	増谷 直樹	ブルゴーニュの小さな村	2004	カンヴァス・油彩	1 面
9	増谷 直樹	カルカッソヌのシャベル	2005	カンヴァス・油彩	1 面
10	増谷 直樹	雪の日	2006	カンヴァス・油彩	1 面

(3) 工芸（陶芸）

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	富本 憲吉	天目釉牡丹文陶板	不明	磁器	1 口
2	齋藤 三郎	鉄絵とくだみ文急須	1950 ～ 1960	陶器	1 口
3	齋藤 三郎	鉄釉芦文壺	1948 ～ 1954	陶器	1 口
4	齋藤 三郎	白磁鉢	1955 ～ 1964	磁器	1 口
5	齋藤 三郎	鉄絵梅文德利	1948	陶器	1 口
6	齋藤 三郎	染付椿文瓶	1955 ～ 1965	磁器	1 口
7	齋藤 三郎	辰砂瓶	1975	陶器	1 口
8	齋藤 三郎	色絵龍に椿文飾皿	1960 ～ 1969	磁器	1 口
9	齋藤 三郎	青磁面取香炉	1960 ～ 1969	磁器	1 口
10	齋藤 三郎	鉄釉盃	1948 ～ 1954	陶器	2 口
11	齋藤 三郎	鉄釉草文手附德利	1948 ～ 1954	陶器	1 口
12	齋藤 三郎	灰釉鉄絵梅文水指	1948 ～ 1954	陶器	1 口
13	齋藤 三郎	色絵柏樹文皿	1948 ～ 1954	磁器	1 口
14	齋藤 三郎	辰砂牡丹文扁壺	1955 ～ 1964	陶器	1 口
15	齋藤 三郎	色絵椿文煎茶器	1960 ～ 1969	磁器	1 口
16	齋藤 三郎	鉄絵芦文壺	1948 ～ 1954	陶器	1 口
17	齋藤 三郎	椿図	1955 ～ 1960	紙・彩色	1 幅
18	齋藤 三郎	椿三図	1970 頃	紙・墨・彩色	1 幅

(4) 現代美術

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	堀川 紀夫	The Shinano River Plan 2008	2008	石・針金・紙	1 個
2	グループ GUN 撮影：羽永 光利、磯 俊一、堀川 紀夫	雪のイメージを変えるイベント	1970	インクジェットプリント・紙	12 枚

③寄託作品

個人寄託（氏名公表不可）

No.	分野	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	日本画	奥村 土牛	鷹	1943	絹・彩色	1 幅

日本画 46 点、油彩画 5 点、書 15 点、工芸 2 点、彫刻 2 点、素描ほか 6 点（合計 76 点）

④所管替え作品

大島区総務地域振興グループから所管替え

No.	分野	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	彫刻	岩野 勇三	とりばい（レリーフ）	1965	ブロンズ	1 点

以上 112 件

（内訳）日本画 51 件、油彩画 15 件、工芸（陶芸）20 件、現代美術 2 件、彫刻 3 件、書 15 件、素描ほか 6 件

(2) 展示・保存環境調査

美術館内の展示保存環境が美術作品の展示に対して適正であるかを確認するため、下記のとおり気中濃度測定を実施した。

測定項目：アンモニア、ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

測定箇所：古径記念室・古径記念室展示ケース、企画展示室、企画展示室展示ケース、一時保管庫内

期 日：7月4日（火）

実施機関：一般財団法人上越環境科学センター

(3) 作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
貸与先：上越市立歴史博物館			
令和5年度逸品展示 「どうする康政 榊原家資料展」 会期：3月25日(土)～6月18日(日)	秋香 (小林 古径)	《榊原康政檄文染筆之図》	3月17日(金)～6月30日(金)
「常設展 第一期」 会期：3月18日(土)～6月27日(火)	斎藤 真一	《警女 キクエと桜》 《赤倉警女『越後警女日記』》 《西頸城 能生の駅・待合室にて『越後警女日記』》	3月17日(金)～6月27日(火)
「常設展 第二期」 会期：6月28日(水)～9月28日(木)	斎藤 真一	《鶯口の雷『越後警女日記』》 《佐久の旦那『越後警女日記』》 《明星 妙高谷『越後警女日記』》	6月27日(火)～9月28日(木)
「常設展 第三期」 会期：9月29日(金)～12月19日(火)	斎藤 真一	《明星 二本木の雪『越後警女日記』》 《三人警女 冬の旅支度『越後警女日記』》 《待合所にて「警女」『越後警女日記』》	9月28日(木)～12月19日(火)
「常設展 第四期」 会期：12月20日(水)～令和6年3月22日(金)	斎藤 真一	《雪の唄『越後警女日記』》 《西頸城の警女『越後警女日記』》 《お春の折り『お春警女物語』》 《太郎の曲『お春警女物語』》	12月19日(火) ～令和6年3月22日(金)
貸与先：福井県立美術館			
特別企画展「パリに行きたい！」 会期：9月15日(金)～10月15日(日)	マリー・ローランサン	《花束》	8月27日(日)～11月1日(水)
	モーリス・ユトリロ	《クレミューの教会》	
	エミール・ガレ	《とんぼと水草文花瓶》 《藤文蓋付器》 《エナメル彩色野草文コップとカラフセット》	

(1) 講演会・講義講師

団体名	日時	内容	講師	参加者数
大潟地区公民館	6月7日(水) 9:30～11:00	小林古径について 「ふるさと散歩道」	笹川修一	29人
直江津ロータリークラブ	6月20日(火) 12:30～13:00	生誕140年小林古径について	笹川修一	30人
高田ロータリークラブ	6月23日(金) 12:30～13:00	生誕110年齋藤三郎人と芸術	市川高子	45人
小林古径記念美術館友の会	6月25日(日) 13:30～14:30	小林古径の生涯と作品(前編)	笹川修一	22人
小林古径記念美術館友の会	8月26日(土) 13:30～14:30	小林古径の生涯と作品(後編)	笹川修一	24人
小林古径記念美術館友の会	9月26日(火)	美術館巡り講師 (新潟市新津美術館ほか)	市川高子	30人
上越教育大学(非常勤講師)	10月28日(土)、29日(日) 9:30～16:30	伝統絵画表現と鑑賞(集中講義)	笹川修一	6人
小林古径記念美術館友の会	11月10日(金) 13:30～14:30	小林古径の作品について(展示解説)	笹川修一	30人
上越市学校教育研究部会(図工・美術)	11月15日(水) 14:00～16:30	小林古径について説明、展示解説	伊藤舞実	44人
上越教育大学(非常勤講師)	11月24日(金) 13:00～14:30	教科内容構成 「上越市ゆかりの作家と美術館の役割」	笹川修一	3人
新潟県立北城高等学校	11月29日(水) 12:40～13:30	地域課題学習	伊藤舞実	15人
上越教育大学(非常勤講師)	1月26日(金) 13:00～14:30	教科内容構成 発表講評	笹川修一	3人
新潟県行政書士会上越支部	1月27日(土) 14:30～16:30	小林古径について講義、館内説明	笹川修一	20人
高田本町百年商店街実行委員会	2月3日(土) 10:30～11:30	高田本町絵看板まつり2024トークショー 「絵看板のチカラ」	小川陽子	15人

(2) 依頼原稿執筆

団体名・書籍名等	掲載日	内容
上越タイムス紙上連載 「あつめてのこす、ひろくつたえる ～新収蔵品から～」	① 5月3日(水) ② 5月4日(木) ③ 5月5日(金) ④ 5月6日(土) ⑤ 5月7日(日)	「新収蔵品展」作品紹介(全5回) 執筆者 ①③小川陽子 ②⑤伊藤舞実 ④宮崎俊英
新潟日報紙上記事 「生誕110年 齋藤三郎展」	9月12日(火)	執筆者：市川高子
独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 『日本のアーティスト事典』 アート・プラットフォーム・ジャパン(APJ)サイトに掲載 (インターネット公開)	7月下旬以降、各作家順次公開	執筆者：笹川修一 「小林古径」の解説及びレファレンスデータの作成 (古径について、主要作品、主要所蔵館)
上越タイムス紙上連載 「生誕110年 齋藤三郎展」	① 9月27日(水) ② 9月28日(木) ③ 9月29日(金) ④ 9月30日(土) ⑤ 10月1日(日)	「齋藤三郎展」作品紹介(全5回) 執筆者 ①⑤小川陽子 ②③④市川高子
公明新聞紙上記事(文化欄) 「生誕140年小林古径の世界」	11月1日(水)	執筆者：笹川修一
上越タイムス紙上記事 「生誕140年小林古径の世界」に寄せて	11月12日(日)	執筆者：笹川修一
六人の会 『戸張幸男彫刻作品集』	11月発行	執筆者：宮崎俊英 「戸張幸男が高田に残したもの」
上越タイムス紙上連載 「古径さんの素描－創作の原点」	① 2月6日(火) ② 2月9日(金) ③ 2月10日(土) ④ 2月11日(日) ⑤ 2月14日(水)	「古径さんの素描」作品紹介(全5回) 執筆者 ①③⑤小川陽子 ②④市川高子

(3) 展覧会図録・小冊子作成

書籍名等	発行日	編集担当	執筆内容
『生誕110年 齋藤三郎展』 (発行：小林古径記念美術館)	令和5年7月発行	市川高子 小川陽子	市川高子「齋藤三郎 椿文様の変遷」 「扉解説」「トビック 兄・齋藤泰全(泰三)との絆」「トビック 大杉 屋惣兵衛に今も残る三郎デザイン」「年譜」「参考文献」 小川陽子「扉解説」「トビック 疎開文化人との交流」
『生誕140年 小林古径の世界』 (発行：小林古径記念美術館)	令和5年10月発行	笹川修一 伊藤舞実	笹川修一「小林古径をめぐる人々」 「各章扉解説」「作品解説」「古径の住まいと画室」「小林古径落款集成」 伊藤舞実「作品解説」「年譜」
『小林古径記念美術館所蔵 柴田長俊作品集』 (小冊子) (発行：小林古径記念美術館)	令和6年3月発行	笹川修一	笹川修一「柴田長俊年譜」

(4) 展覧会調査及び作家作品調査

内容	調査日	担当	場 所
齋藤三郎作品調査	4 月 5 日(水)	市川高子	長岡市栃尾
齋藤尚明作品調査	4 月 8 日(土)	市川高子	作家宅（上越市内）
齋藤三郎調査	4 月 11 日(火)	市川高子	久昌寺（上越市内）
齋藤三郎調査	4 月 19 日(水)	市川高子	築田寺（東京都町田市）
齋藤三郎作品調査	4 月 21 日(金)	市川高子	所蔵先（上越市内）
齋藤三郎作品調査	4 月 27 日(木)	市川高子	所蔵先（上越市内）
小林古径作品調査	5 月 12 日(金)	笹川修一	島川美術館（宮城県仙台市）
寄託予定作品調査	5 月 17 日(水)	笹川修一	収蔵庫内
	5 月 18 日(木)	伊藤舞実	
寄贈予定作品調査	5 月 20 日(土)	宮崎俊英 伊藤舞実	個人宅（新潟市）
齋藤三郎調査	5 月 25 日(木)	市川高子	作家宅（上越市内）
小林古径作品調査	5 月 27 日(土)	笹川修一	いずみ画廊（愛知県名古屋）
令和 6 年度企画展作品調査	6 月 13 日(火)	伊藤舞実 小川陽子	作家事務所（東京都）
寄託予定作品調査	6 月 14 日(水)	笹川修一 伊藤舞実	収蔵庫内
柴田長俊アトリエ調査	6 月 15 日(木)	笹川修一 伊藤舞実	作家アトリエ（長野県）
小林古径作品調査	6 月 16 日(金)	笹川修一	福井県立美術館
令和 7 年度企画展調査	6 月 17 日(土)	笹川修一	佐川美術館（滋賀県守山市）
寄託予定作品調査	6 月 21 日(水)	笹川修一 伊藤舞実	収蔵庫内
	6 月 22 日(木)		
令和 6 年度企画展作家調査	7 月 18 日(火)	伊藤舞実 小川陽子	美術館内
小林古径作品調査	8 月 7 日(月)	笹川修一	歌舞伎座（東京都）
小林古径作品調査	8 月 8 日(火)	伊藤舞実	東京国立近代美術館
令和 6 年度企画展調査	8 月 21 日(月)	笹川修一 市川高子	小学館（東京都）
令和 6 年度企画展調査	8 月 22 日(火)	市川高子	作家宅（上越市内）
小林古径作品調査	8 月 22 日(火)	笹川修一	霊友会（東京都）
令和 6 年度企画展調査	8 月 31 日(木)	伊藤舞実 小川陽子	美術館内
令和 6 年度企画展調査	10 月 9 日(月)	伊藤舞実 小川陽子	上越市内
戸張幸男展展示監修	11 月 22 日(水)	宮崎俊英	大蔵寺（上越市内）
令和 6 年度企画展調査	1 月 28 日(日)	伊藤舞実 小川陽子	作家宅（上越市内）
柴田長俊調査	1 月 31 日(水)	笹川修一	作家アトリエ（長野県）
令和 6 年度企画展作品調査	2 月 7 日(水)	伊藤舞実 小川陽子	作家事務所（東京都）
令和 7 年度企画展調査	2 月 16 日(金)	市川高子	作家宅（神奈川県）ほか
	2 月 17 日(土)		
村山陽作品調査	2 月 21 日(水)	市川高子	所蔵先（上越市内）
令和 6 年度企画展調査	3 月 6 日(木)	市川高子 笹川修一	所蔵先（上越市内）

(5) 研究会・研修等

研修名	日 時	担当	会場
新潟県博物館協議会総会・研究発表会	4 月28日(金)	宮崎俊英	新潟日航ホテル（新潟市）
第 3 回一般社団法人全国美術館会議社員総会	5 月25日(木)	笹川修一 伊藤舞実	愛知県芸術文化センター（名古屋市）
全国美術館会議小規模館研究部会第 54 回会合	5 月26日(金)	笹川修一 伊藤舞実	徳川美術館（名古屋市）
全国美術館会議小規模館研究部会第 55 回研修会・会合	令和 6 年 1 月10日(水)、11日(木)	笹川修一 市川高子	絹谷幸二 天空美術館（大阪市）
全国美術館会議第 38 回学芸員研修会（教育普及部会）	3 月 7 日(木)、8 日(金)	伊藤舞実	国立新美術館（東京都）
新潟県博物館協議会理事会	令和 6 年 3 月25日(月)	宮崎俊英	知足美術館（新潟市）

(1) 上越市有線放送協会「小林古径記念美術館を訪ねて」(シーズン4) 出演

内 容	放送日	担 当
新収蔵品展の紹介	4月6日(木)	伊藤舞実
新収蔵品展イベント紹介、国際博物館の日入館無料 [Museums,Sustainability and Well-being]	5月4日(木)	小川陽子
美術作品の収集と保管、活用 「あつめてのこす、ひろくつたえる」活動とは?	6月1日(木)	伊藤舞実
生誕110年 齋藤三郎展 齋藤三郎紹介	7月6日(木)	市川高子
齋藤三郎展関連イベント「美術館で夏やすみ!」	8月3日(木)	市川高子
7分でおさらい!? 小林古径の生涯	9月7日(木)	笹川修一
いよいよ開催!生誕140年小林古径展と関連イベント	10月5日(木)	笹川修一
古径作品の紹介と庭園ライトアップ	11月2日(木)	伊藤舞実
古径素描展の紹介	12月7日(木)	小川陽子
古径素描の魅力とは?	1月4日(木)	小川陽子
今年もやります!キャンドルナイト	2月1日(木)	小川陽子
柴田長俊展のご案内	3月7日(木)	伊藤舞実

(2) ラジオ出演

番組名	内容	放送日	担 当
FM みょうこう	新収蔵品展	5月10日(水)	小川陽子
JCV ラジオ・FM みょうこう 番組生放送	新収蔵品展 国際博物館の日	5月18日(木)	伊藤舞実
JCV ラジオ 番組生放送	齋藤三郎展	9月21日(木)	小川陽子
広報Jステーション	小林古径展	10月6日(金)	伊藤舞実

(3) 上越ケーブルテレビ (JCV) 出演

番組名	内容	放送日	担 当
MJ いんふおめーしょん	新収蔵品展	5月10日(水)	小川陽子
MJ いんふおめーしょん	齋藤三郎展	8月9日(水)	市川高子
MJ いんふおめーしょん	小林古径展	10月24日(火)	伊藤舞実
MJ いんふおめーしょん	古径さんの素描	12月26日(火)	小川陽子
MJ いんふおめーしょん	キャンドルナイト	1月29日(月)	小川陽子
MJ いんふおめーしょん	古径さんの素描 柴田長俊展	2月20日(火)	小川陽子

(4) 美術館ホームページアクセス数と SNS 投稿数

	ホームページ	Facebook		Instagram	
	ページビュー数	投稿件数	一番反応のあった投稿 (閲覧数)	投稿件数	一番反応のあった投稿 (閲覧数)
4月	4,392 回	8 件	GW 特別企画 「古径邸・庭園見どころガイドツアー」(475)	—	開設準備 (開設日: 5月3日)
5月	4,965 回	13 件	国際博物館の日を記念して、施設を無料開放します (1,168)	9 件	美術館の庭に菖蒲の花が咲きました。(81)
6月	3,571 回	6 件	企画展まもなく終了! (453)	5 件	鑑賞 & トーク会「この作品、どうしてここにある の?」を開催 (81)
7月	4,486 回	6 件	祝・齋藤三郎誕生日! (246)	7 件	「美術館で夏やすみ」案内 (118)
8月	4,045 回	8 件	美術館の雁木に風鈴を吊りました (280)	9 件	今日もたくさん子どもたちが美術館に遊びに来て くれました (114)
9月	4,410 回	4 件	齋藤三郎展講演会のお知らせ (192)	5 件	古径展 イベント申し込みスタート (144)
10月	5,580 回	7 件	古径展イベント紹介 (323)	6 件	秋の庭園をお楽しみ下さい (117)
11月	5,834 回	10 件	「小林古径の世界」閉幕まであと3日! vol.1 (298)	10 件	オリジナル絵巻をつくろう!を開催しました (132)
12月	2,276 回	7 件	展覧会関連イベント③ 古径さんの線を引いてみよう案内 (226)	6 件	古径さんの作品で「上げ写し」技法を体験してみよ う!を実施しました (94)
1月	2,192 回	8 件	作品の保管状況を再点検しました (260)	7 件	「小林古径生誕記念日 キャンドルナイト 2024」開催 のご案内 (154)
2月	3,523 回	8 件	小林古径生誕記念日 キャンドルナイト 2024 ⑧ 関連イベント① (192)	5 件	小林古径生誕記念日 キャンドルナイト 2024 を開催 しました (160)
3月	3,787 回	3 件	いよいよ開幕!「祈りの心象 柴田長俊展」(608)	3 件	観桜会スタート❖美術館開館情報 (252)

※現在のフォロワー数: Facebook231 人、Instagram140 人 (令和6度3月12日時点)

(5) 取材協力

メディア名	内容	取材日	担当
新潟テレビ 21・北陸朝日放送・長野朝日放送	テレビ朝日系列 3 局ブロック特別番組 「長野・上越・金沢 3 市長が描くミライ予想図」(5 月 27 日放送)	4 月 14 日(金) 4 月 15 日(土)	宮崎俊英 笹川修一
ハーツ・アンド・マインズ	大田区情報誌『月刊 おとなりさん』「特集 小林古径」	7 月 19 日(水)	伊藤舞実
新潟日報	「生誕 140 年・日本画家 小林古径」『新潟日報 (まいにちふむふむ)』	7 月 31 日(月) (掲載日)	笹川修一
上越市広報対話課	『広報上越』9 月号 「小林古径の世界」特集記事	7 月 28 日(金)	笹川修一 伊藤舞実
新潟県観光文化スポーツ部文化課	『Niigata Culture Tourism 上越エリア』 「小林古径記念美術館で美術館デビューしよう！」 (令和 6 年 1 月 15 日発行)	9 月 24 日(日)	小川陽子
株式会社フルタイム	『にいがた文化物語』Web 記事 「小林古径の世界」	10 月 21 日(土)	伊藤舞実
建築画報社	『建築画報』「宮本忠長建築設計事務所特集」	11 月 22 日(水)	宮崎俊英
上越市広報対話課	『広報上越』令和 6 年 4 月号 「柴田長俊展」特集記事	2 月 22 日(木)	笹川修一 伊藤舞実

『広報上越』9 月号は「新潟県広報コンクール県知事賞」を受賞した

管 理 運 営 事 業

- 小林古径記念美術館施設概要
- 美術館組織
- 小林古径記念美術館友の会
- 小林古径記念美術館条例
- 小林古径記念美術館条例施行規則
- 運営委員会
- 収集委員会
- 令和6年能登半島地震対応について
(小林古径記念美術館)
- 画室貸出実績

■小林古径記念美術館施設概要

1 施設概要等

館 名：小林古径記念美術館（館長：宮崎 俊英）
住 所：〒943-0835 新潟県上越市本城町 7-1（高田城址公園内）
電 話：025-523-8680
ファックス：025-530-6033
e-mail：kokei@city.joetsu.lg.jp

開 館：平成 13 年 4 月 29 日（小林古径邸）
平成 14 年 4 月 1 日（旧小林古径記念美術館）
令和 2 年 10 月 3 日（新小林古径記念美術館 開館）
構 造：鉄筋コンクリート造、平屋建て（一部 2 階建て）
敷地面積：5,136.99㎡
延床面積：809.67㎡（美術館）／419.04㎡（小林古径邸・画室）

2 空調設備について

①屋内空調設定値

	展示室		一時保管庫	
	夏期	冬期	夏期	冬期
温 度	25 ± 3℃	22 ± 3℃	20 ± 1℃	20 ± 1℃
湿 度	55 ± 3%	55 ± 3%	55 ± 1%	55 ± 1%

- ②熱源設備 電気式パッケージエアコン
③空調和設備 展 示 室…空調機による単一ダクト方式
一時保管庫…空調機による単一ダクト方式

3 トラックヤード

- ・美術品専用車 1 台分のトラックヤードあり
- ・4 t ロングタイプのトラックを格納可能

4 照明設備について

①調光機能…あり

②使用光源

	展示室・展示ケース	スポットライト
光源	LED ダウンライト (展示ケース内は調光・調色)	LED スポットライト (個別調光)
機種		ERCO 72153.025・72065.025 CCS MUSEUM COB SPOTLIGHT (自然光タイプ)

③照明の設定値（計画値）

	展示室	収蔵庫
照度	0 ～ 300lx	150 ～ 200lx

5 警備状況について

①警備体制

- 開館中…会場監視員及び職員による監視
監視カメラによるモニター監視と常時録画
異常時には警備保障会社に自動連絡
閉館中…防犯センサー及び画像センサーによる監視
画像センサーにより異常時の状態画像確認と保存を行う（録画保存）
異常時にはスピーカーでの音声威嚇が可能

②展示室の施錠状況

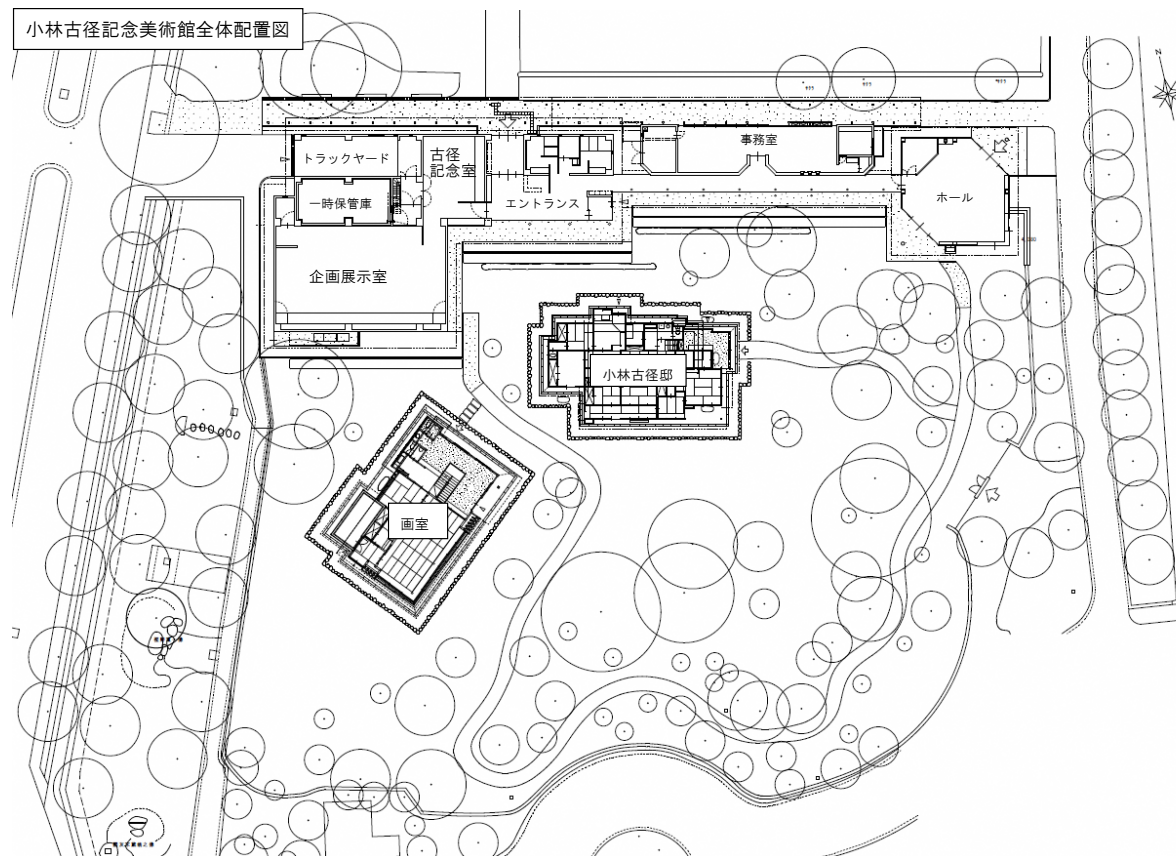
- 展示室の出入口は施錠可能

6 消防設備について

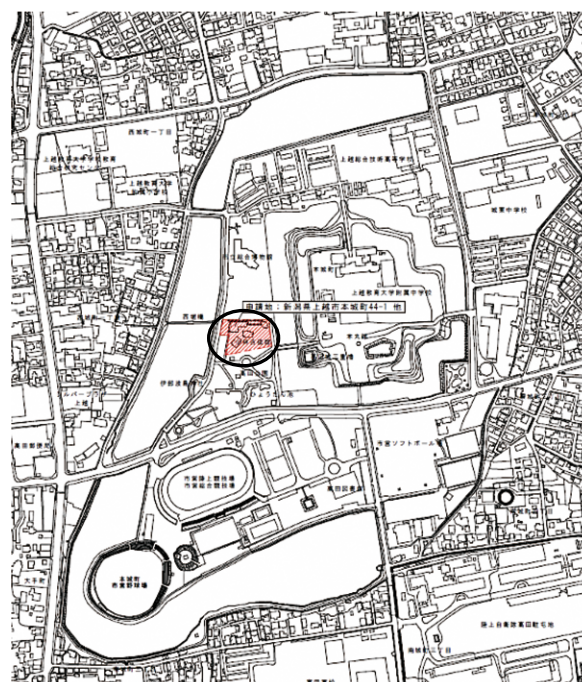
消火設備の種類

展示室	一時保管庫	その他
二酸化炭素消火器	パッケージ型ガス消火設備（ハロン 1301）	粉末消火器

※法令に基づく消火設備を設置しています（自動火災報知設備あり）



小林古径記念美術館位置図



■美術館組織

上越市教育委員会 文化行政課 小林古径記念美術館

館長 — 副館長 — 資料係
学芸員
事務職員

小林古径記念美術館運営委員会

上越市美術資料収集委員会

職員（令和5年度）

役職	氏名
館長	宮崎 俊英
統括学芸員・副館長	笹川 修一
主査	高橋 彰夫
主任学芸員	市川 高子
学芸員	伊藤 舞実
学芸員	小川 陽子
事務職員（会計年度任用職員）	保高 眞莉子

■小林古径記念美術館友の会

会長：植木 哲夫 副会長：佐野 隆

目的：友の会は、上越市出身の日本画家・小林古径の芸術に共感する人々が集まり、広く芸術に親しみ、会員同士の交流を図る。
あわせて小林古径記念美術館の事業に協力する。

○年会費 一般会員 ……2,000 円
学生会員 ……500 円
事業所会員 ……10,000 円

○会員特典

- ・美術館に年2回、無料で入館
- ・「友の会だより」を年2回送付
- ・各種イベントのご案内
- ・図録・グッズを割引価格で購入
- ・美術館めぐりやコンサートなど、友の会主催事業のご案内

○活動記録

令和5年度：友の会総会、ミニコンサート

友の会美術講座「小林古径の生涯と作品（前編）」 6月25日

「小林古径の生涯と作品（後編）」 8月26日

美術館巡り（新潟市新津美術館） 9月26日

「小林古径の世界」特別鑑賞会 11月10日

■小林古径記念美術館条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、本市出身の日本画家小林古径及び本市にゆかりのある美術作家に関連する作品等を広く紹介するとともに、市民の教育、学術及び文化の向上を図るため、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
小林古径記念美術館	上越市本城町7番1号

(施設)

第3条 小林古径記念美術館（以下「美術館」という。）の施設は、次に掲げるとおりとする。

- 美術館本館
- 小林古径邸
ア 本邸
イ 画室
- 庭園

(事業)

第4条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- 次に掲げる資料の収集、保管及び展示に関すること。
ア 小林古径及び本市にゆかりのある美術作家に関する資料
イ その他美術館の運営及び調査研究に必要な資料
- 前号ア及びイに掲げる資料（以下「資料」という。）に関する学術調査及び研究を行うこと。
- 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- 資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 資料に関する情報の提供に関すること。
- その他美術館の設置目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第5条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

- 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日
- 休日の翌日
- 12月29日から翌年1月3日まで

(入館の制限)

第7条 教育委員会は、他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者その他入館が不相当と認められる者に対しては、美術館への入館を拒み、又は美術館からの退館を命ずることができる。

(利用の承認)

第8条 画室を占用して利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。承認を得た事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の承認をしない。
- 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
 - 美術館の施設又は設備を破損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - その他美術館の管理上支障があると認められるとき。
- 3 教育委員会は、第1項の承認に当たり、美術館の管理上必要な条件を付することができる。

(利用の承認の取消し等)

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の承認を取り消し、又は利用を中止させることができる。

- この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- 教育委員会が美術館の管理上必要と認めて行う指示に従わないとき。

(原状回復の義務)

第10条 美術館の利用者は、利用した施設及び設備を原状に復さなければならない。前条の規定により利用を中止したときも、同様とする。

(観覧料等)

第11条 美術館に入館して資料を観覧しようとする者（第8条第1項の承認を得た者で美術館本館及び本邸を観覧しないものを除く。）は別表第1に定める観覧料を、同項の承認を得た者は別表第2に定める使用料をそれぞれ納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、特別展示の資料を観覧しようとする者は、その都度市長が定める観覧料（以下「特別観覧料」という。）を納付しなければならない。
- 3 観覧料、特別観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）は、美術館に入館する前又は画室の利用開始前に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、入館後又は利用開始後にその全部又は一部を納付することができる。

(年間観覧券)

第12条 市長は、利用者の利便に資するため、年間観覧券を発行することができる。

- 2 前項の年間観覧券（以下「年間観覧券」という。）の発行を受けようとする者は、別表第3に定める料金をあらかじめ納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、年間観覧券の発行後にその全部又は一部を納付することができる。
- 3 教育委員会は、偽りその他不正の手段により年間観覧券を利用したとき又は利用するおそれがあると認めるときは、年間観覧券の利用を中止させることができる。

(観覧料等の減免)

第13条 市長は、第11条の規定にかかわらず、観覧料等について、次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額を免除し、又は減額することができる。

- 市が主催する事業において画室を利用するとき。 使用料の全額
- 市が共催する事業において画室を利用するとき。 使用料の50パーセントの額
- その他市長が必要と認めるとき。 観覧料等のうち必要と認める額

(観覧料等及び年間観覧券の料金の還付)

第14条 納付した観覧料等は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額を還付する。

- 第8条第1項の承認を得た者が利用の取消しを利用日前3日までに申し出て承認されたとき。使用料の70パーセントの額
- 市長が災害その他特別の事情により還付することを適当と認めるとき。 観覧料等のうち適当と認める額

2 納付した年間観覧券の料金は、還付しない。ただし、市長が特に必要と認めるときは、納付した額の全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第15条 故意又は過失により美術館の施設、設備、資料等を破損し、汚損し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和2年10月3日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(小林古径邸条例及び小林古径記念美術館条例の廃止)

- 2 次に掲げる条例は、廃止する。
- 小林古径邸条例（平成13年上越市条例第5号）
 - 小林古径記念美術館条例（平成17年上越市条例第8号）
- 別表第1（第11条関係）

区 分	個 人	団体（20人以上の団体）
一 般	510円	1人につき410円
高校生・中学生・小学生	260円	1人につき210円

備考 市内の小学校の児童及び中学校の生徒は、無料とする。

別表第2（第11条関係）

施設名	使用料（1時間につき）
画 室	1,020円

備考

- 営利又は営業上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額とする。
- 利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算する。

別表第3（第12条関係）

区 分	年間観覧券の料金
一 般	1,500円
高校生・中学生・小学生	700円

備考

- 年間観覧券の料金には、特別観覧料を含むものとする。
- 年間観覧券の有効期間は、年間観覧券の発行の日から同日から起算して1年を経過する日までとする。
- 小学生及び中学生は、市外の小学校の児童及び中学校の生徒に限る。
- この表に定める区分の適用については、年間観覧券の発行の日現在における区分によるものとする。

■小林古径記念美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、小林古径記念美術館条例（令和2年上越市条例第32号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(資料の貸出し)

第2条 調査研究等のため、教育委員会が特に必要と認める場合は、資料の貸出しを行うことができる。

(資料の寄贈及び寄託)

第3条 小林古径記念美術館（以下「美術館」という。）に資料の寄贈又は寄託をすることができ。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、教育委員会の承認を得なければならない。

3 資料の寄贈又は寄託に要する経費は、原則として寄贈者又は寄託者の負担とする。

4 資料の寄託を受けたときは、受託証を交付する。

(寄託資料の取扱い)

第4条 寄託資料は、美術館の資料と同一の取扱いをするものとする。ただし、第2条の規定により貸出しを行うときは、寄託者の承認を得なければならない。

(寄託物の免責)

第5条 教育委員会は、寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損失を受けても、その責めを負わない。

(利用の承認)

第6条 条例第8条第1項の規定により画室の占用利用の承認を得ようとする者は、小林古径記念美術館画室占用利用承認申請書（第1号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の申請書の提出があったときは、これを審査し、承認の可否を決定承認したときは、小林古径記念美術館画室占用利用 通知書（第2号様式）により通知する 却下ものとする。

(禁止行為)

第7条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 資料に触れること。
- (2) 資料の近くで万年筆、ボールペン等を使用すること。
- (3) 指定された場所以外で火気を使用すること。
- (4) 指定された場所以外で飲食をすること。
- (5) 次に掲げる行為で許可を受けないもの
 - ア 物品を販売し、若しくは陳列し、又は広告類を掲示し、若しくは配布すること。
 - イ 販売及び書籍等への掲載を目的として撮影すること。
- (6) 指定された場所以外に立ち入ること。
- (7) 美術館内の風紀秩序を乱し、及び他の利用者に迷惑を及ぼす行為
- (8) 騒音、悪臭等を伴い美術館本来の機能を妨げるおそれのある行為
- (9) その他美術館の管理上支障があると認められる行為

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和2年10月3日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(小林古径記念美術館条例施行規則及び小林古径邸条例施行規則の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 小林古径記念美術館条例施行規則（平成17年上越市教育委員会規則第6号）
- (2) 小林古径邸条例施行規則（平成17年上越市教育委員会規則第7号）

上越市美術資料収集委員会設置要綱

(設置)

第1条 上越市における美術品及び美術に関する資料（以下「美術資料」という。）の収集の適正を図るため、上越市美術資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 収集委員会の委員は、5人以内とし、美術に関する専門家のうちから教育委員会が委嘱するものとする。

(委員の任期)

第3条 収集委員会の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(諮問)

第4条 教育委員会は、次に掲げる美術資料を収集するときは、収集リストを作成し、収集委員会を招集して諮問する。

- (1) 小林古径の作品
- (2) 小林古径に関連する作品及び資料
- (3) 上越市又は上越市ゆかりの美術の流れを展望できる作品
- (4) 近・現代美術の展望を特徴づける国内外の作品
- (5) その他美術資料として必要な資料

(審議)

第5条 収集委員会は、前条の規定による諮問があった場合は、次の事項について審議する。

- (1) 美術資料の選定に関すること。
- (2) 美術資料の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会が必要と認めること。

2 収集委員会の会議は、委員の定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

3 収集委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

(守秘義務)

第6条 収集委員会の委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第7条 収集委員会の庶務は、小林古径記念美術館において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、収集委員会に関し必要な事項は、収集委員会が別に定める。

附 則 この要綱は、平成7年4月1日から実施する。

附 則 この要綱は、平成17年1月1日から実施する。

附 則 この要綱は、平成29年4月1日から実施する。

附 則 この要綱は、令和3年4月1日から実施する。

小林古径記念美術館運営委員会設置要綱

(設置)

第1条 小林古径記念美術館における事業の充実を図るとともに、小林古径及び上越市にゆかりのある美術作家を顕彰し、当市の美術文化の発展を図るため、小林古径記念美術館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 運営委員会は、次に掲げる事項を所掌するものとする。
(1) 小林古径記念美術館における事業の充実に関し必要な事項
(2) 小林古径及び上越市にゆかりのある美術作家の顕彰に関し必要な事項
(3) 上越市の美術文化の発展に関し必要な事項

(組織)

第3条 運営委員会は、次に掲げる人のうちから教育委員会が委嘱する5人以内の委員をもって組織する。
(1) 美術文化について識見を有する人
(2) 学校教育及び社会教育に精通する人
(3) 公募に応じた市民
(4) その他教育委員会が必要と認める人

(委員長及び副委員長)

第4条 運営委員会に委員長及び副委員長を各1人置く。
2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
3 委員長及び副委員長の任期は、委員の在任期間とする。
4 委員長は、運営委員会を代表し、会議その他の会務を総理する。
5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 運営委員会の委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 運営委員会の会議は、定例会及び臨時会とする。
2 定例会は、年2回以内とし、必要に応じて臨時会を招集することができる。
3 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。
4 会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。
5 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
6 会議の議事は、出席した委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 運営委員会の庶務は、小林古径記念美術館において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 この要綱は、平成16年4月23日から実施する。

附 則 この要綱は、平成16年6月1日から実施する。

附 則 この要綱は、平成17年1月1日から実施する。

附 則 この要綱は、令和2年10月3日から実施する。

■小林古径記念美術館運営委員会

【委員名簿】

1 委員

選出区分	氏 名	役職等
美術文化について 識見を有する人	高橋 信雄	小林古径保存会
	川崎 日香湊	日本画家
学校教育及び社会 教育に精通する人	五十嵐 史帆	上越教育大学教授（美術教育）
	大塚 啓	柿崎中学校校長 上越美術教育連盟副会長
公募に応じた市民	宮越 啓子	

2 任期

令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年間）

令和5年度小林古径記念美術館運営委員会

日時：令和6年3月5日（火）午後1時30分から

場所：小林古径記念美術館

■上越市美術資料収集委員会

【委員名簿】

1 委員

選出区分	氏名	役職等
小林古径及び日本画に ついて精通している人	洞谷 亜里佐	上越教育大学教授（日本画） 日本美術院所属
新潟県内の美術作家に ついて精通している人	松矢 国憲	新潟県立近代美術館専門学芸員
上越市内の美術作家に ついて精通している人	三浦 顕	上越美術協会事務局長
美術作品の教育利用に 精通している人	池上 秀敏	元新潟県美術教育連盟会長
美術の動向や公立美術館の 作品収集に精通している人	本谷 文雄	元石川県立美術館学芸員・石川県 立歴史博物館学芸員

2 任期

令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年間）

令和5年度小林古径記念美術館美術資料収集委員会

日時：令和6年2月13日（火）午後1時30分から

場所：小林古径記念美術館

■令和 6 年能登半島地震対応について（小林古径記念美術館）

2024 年 1 月 1 日（月）

- 16:10 地震発生（上越市内は震度 5 強、能登地方は震度 7）
- 16:35 参集、美術館内の状態確認
 - ・ホール倉庫内…テーブル・椅子転倒状態（被害なし）
- 16:40 古径邸本邸・画室点検
- 17:00 美術館内状態確認（被害なし）
 - ・エントランス揭示物落下
 - ・展示室可動式パネルが数枚移動、絵画作品一部傾斜
- 17:30 博物館にて収蔵庫内の状況を確認（被害なし）
 - ・絵画ラックが移動している（ストッパーはなかった状態）

2024 年 1 月 2 日（火）

- 9:00 美術館内再度点検
 - ・美術館施設・博物館収蔵庫…被害なし
- 11:00 清里収蔵施設内確認…被害なし
- 11:30 市民プラザ内の峯田彫刻作品《三つの角》（木彫）確認
 - ・女性の像が転倒し床面に敷いてある木彫ブロックが一部破損
 - ・高井進陶芸作品（アイシン寄贈作品）が全損
※美術館所蔵品ではない
- 13:00 まちかど交流館内の峯田彫刻展示室の作品確認
 - ・《院生 F》（テラコッタ）が展示台から後部へ落下し全損
 - ・破損した作品を撤去し、他の作品については展示台から降ろして床に安置

2024 年 1 月 4 日（木）

- 9:00 博物館収蔵庫絵画ラックの作品固定作業
- 10:00 美術館通常開館
 - SNS、ホームページにて開館している記事を投稿

2024 年 1 月 5 日（金）

- 9:00 まちかど交流館内峯田作品展示室の彫刻作品を一部入れ替えて展示復旧、開室

2024 年 1 月 9 日（火）

- 17:59 余震発生（上越市内は震度 4、長岡市は震度 5 弱）
- 18:30 美術館内の状態確認（異常なし）

市民プラザ（1 階）



作品破損状況（峯田彫刻作品）



作品破損状況（高井進作品）



高田まちかど交流館（2 階）



作品破損状況

■画室貸出実績

団体・学校名	期 日	人数	備考
上越市観光交流推進課	4月5日(水)	32人	観桜会 お花見弁当
上越市観光交流推進課	4月6日(木)	32人	観桜会 お花見弁当
株式会社 上越シビックサービス	4月7日(金)	20人	鑑賞会＋特別ディナー
和たしじかん藤喜	4月8日(土)	20人	講座開催「着物で和文化を楽しむ会」
上越市観光交流推進課	4月9日(日)	32人	観桜会 お花見弁当
株式会社 新潟テレビ21 東京支社	4月14日(金)	30人	特別番組「3市長が描く、北信越のミライ予想図」の事前準備
株式会社 新潟テレビ21 東京支社	4月15日(土)	30人	特別番組「3市長が描く、北信越のミライ予想図」の収録
フカミ美術	4月30日(日)	60人	月釜茶会
上越に伝統文化を普及する会	5月13日(土)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
フカミ美術	5月20日(土)	50人	月釜茶会
上越教育大学	5月23日(火)	20人	海外協定校（アイオワ大学）からの訪問者の茶道体験
上越に伝統文化を普及する会	6月10日(土)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
フカミ美術	6月18日(日)	50人	月釜茶会
上越に伝統文化を普及する会	6月25日(日)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
上越市職員労働組合	7月1日(土)	10人	小林古径に関する講座・研修会
学校法人 関根学園	7月1日(土)	23人	海外交流校への文化財見学及び茶道文化体験
新潟県立高田商業高校	7月22日(土)	22人	浴衣の着付け講習会（家庭部の部活動）
上越に伝統文化を普及する会	7月23日(日)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
フカミ美術	7月30日(日)	50人	月釜茶会
上越に伝統文化を普及する会	8月6日(日)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
二胡勉強会	8月11日(金)	20人	二胡の演奏（ミニコンサート）
上越に伝統文化を普及する会	8月19日(土)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
フカミ美術	8月26日(土)	50人	月釜茶会
上越に伝統文化を普及する会	9月9日(土)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
杉田良子（有沢社中）	9月17日(土)	60人	「齋藤三郎展」にちなんだ茶会
公益社団法人 上越青年会議所 人口増加推進委員会	9月23日(日)	12人	「共通グルメを探そう 縁ミーティングフェスタ in 城址公園」の 会場使用
フカミ美術	9月24日(土)	50人	月釜茶会
上越に伝統文化を普及する会	10月7日(日)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
フカミ美術	10月8日(土)	50人	月釜茶会
上越に伝統文化を普及する会	12月2日(土)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
上越に伝統文化を普及する会	12月9日(土)	20人	伝統文化親子教室「みんなの茶道教室」
浦項市高校生交流事業	1月30日(火)	33人	茶道体験
魅力創造課	2月28日(水)	10人	講座
創造行政研究所	3月9日(土)	10人	展示見学・講座

編集：小林古径記念美術館

令和6年3月31日現在